

327

728

實用測樹法及測量法

林學士 戸澤又次郎著

東京日進商會發行

1 2 3 4 5 6 7 8 9 80 1 2 3 4

始



327-728



謹 告

拜啓益御清祥之段奉恭賀候今般弊商會ニ於テ別紙説明書之通り專賣特許折
疊式溝走輪人外數種ノ測量器械發賣仕候右ハ何レモ發明者ガ實地使用上在
來器械メ又點ヲ悉ク改良シ數年ノ久シキ研究ニ研究ヲ累々發明完成セラレ
タル新式ニシテ其利便ト耐久トハ既ニ諸官衙、學校等ノ定評ヲ相受居リ測
樹測量關係者ノ必要欠ク可ラサル完全無欠ノ器械トシテ一般ノ稱贊ヲ博シ
居候就テハ見本御入用ニ候ハ、何時ニテモ御指定ノ品御送附可申上ニ付御
試用ノ上御用仰付被下度右御披露旁御願申上候 敬具

大正四年七月

東京市本郷區根津宮永町三十七番地

日進商會

大正
4.7.31
内交

▼ 定 價

(折疊輪尺ズツク袋入御希望ノ
場合ハ袋代金五拾錢申受候)

溝走輪尺

種類	三尺	二尺六寸	二尺	小包料
両脚固定	貳圓六拾錢	貳圓四拾五錢	貳圓參拾錢	
両脚折疊	參圓拾錢	貳圓九拾五錢	貳圓八拾錢	各拾六錢

測高器

普通參圓貳拾錢 磁石附 四圓五拾錢
小包料 各八錢

懷中簡測器

革 サツク入 八圓五拾錢

小包料 拾貳錢

懷中測量器

革 サツク入 九圓五拾錢

小包料 拾貳錢

クリノメータ

革 サツク入 四圓五拾錢

小包料 八錢

◎特長

本商會發賣ノ專賣特許ハ、林學士戸澤又次郎先生ガ、多年實地ニ從事シ、從來ノ器械ノ欠點ヲ除カシガタメ、發明セラレタルモノナリ。

溝走輪尺 従來ノ輪尺ハ、尺桿薄クシテ長シ、故ニ挫折屈曲ノ憂アリ、挾脚ハ尺桿ニ對シテ斜ニ滑走シ易シ、故ニ精確ナラズ、形狀粗大ニシテ且ツ醜惡ナリ、故ニ之ヲ携帶スルニ於テハ紳士トシテノ品位ヲ損スルコト大ナリ、本發明ハ總テ此等ノ欠點ヲ排除シタルモノナリ。

測高器 従來ノ測高器ハ、水平距離ヲ測ルニアラザレバ樹木ノ高サヲ測定スルヲ得ズ、然ルニ傾斜急ナル我邦ノ山岳地ニ於テ水平距離ヲ測ルノ困難ナルハ、實地家ノ皆知ル所ナリ、本發明ハ、測定者ノ目ト樹木ノ根元トノ距離ヲ測ルノミニテ、其距離ノ水平ナルト斜距ナルトヲ問フコトナシ、故ニ樹高

ノ測定ニ便ナルコト無論ナリ、又傾斜角ヲ測定スルノ設備アルヲ以テ、磁石附ノ者ハ簡易測量ニ供スルコトヲ得ベク、測量器トシテモ彼ノ「クリノメータ」ニ勝ルコト万々ナリ。

懷中簡測器及懷中測量器 現今手持用ノ測量器トシテ使用サレツ、アル者ハ、唯一ノ「クリノメータ」アルノミ、此器械ハ元來岩層ノ傾斜趨向ヲ測定スペキ者ニシテ、測量ニ供スベキ者ニアラズ、故ニ目標ヲ見透シナガラ方位ヲ讀ムベキ設備ヲ欠キ、傾斜角モ亦器械ヲ横ニセザレバ讀ムヲ得ズ、不便ニシテ且ツ不安心ナルコト此ノ上ナシ、本發明ハ、目標ヲ見透シナガラ傾斜角及方位ヲ讀ムベキ裝置ヲ有シ、精確ノ度ニ於テ据付器械ニ異ナラズ、携帶ニ便ニ仕事ノ迅速ナル眞ニ天下ノ逸品蓋シ空前絶後ノ發明ト云フベシ。

特許第一三一〇四號



明

◎溝走輪尺

本發明ハ尺ノ長サノ二倍ニ近キ直徑ヲ測リ◎尺ハ箱形ナルタメ挫折屈曲ノ憂ナク◎滑走ノ際目盛ヲ擦摺スルコトナク◎挾脚ノ滑走ヲシテ弛緩緊密自在ナラシムル設備ヲ有シ滑走頗ル輕快ニ而モ挾脚ハ尺ニ對シ直角タルヲ失ハズ◎携帶ニ便ニシテ折疊式ノ者ハ三尺差ノ者スラ小包ニテ郵送スルコトヲ得ベシ。

本器ヲ使用スルニハ先ツ(い)及(ろ)ノ雌螺旋ヲ弛メ、固定尺(甲)ヲ遊動尺(乙)ヨリ抜キ離シ、折疊式ノ者ニ在リテハ(は)及(に)ノ撮條ヲ押シテ固定脚(ほ)及遊動脚(へ)ヲ起シ、遊動尺ヲ第三圖ノ如ク、固定尺ニ滑走セシメ、雌螺旋(い)及(ろ)ニテ滑走ノ具合ヲ調節シ、次キニ固定脚及固定尺ヲ樹幹ニ當テ、遊動尺ヲ滑走セシメテ樹幹ヲ挾ミ、遊動脚ノ基部ノ内面ト固定尺ノ交叉スル所ニ於テ、日本數字ノ目盛ヲ讀ミ、樹幹太クシテ交叉セザル場合ニハ、遊動尺ノ先端ニ在ル線(二)ト固定尺ノ目盛ト一致スル所ニ於テ、算用數字ノ目盛ヲ讀ムモノトス又遊動脚ノ外面ト固定脚ノ内

面ト相對セシメテ滑走セシムルトキハ(第四圖)普通輪尺ノ如ク使用スルコトヲ得ベク、從テ横臥セル樹幹ノ直徑ハ、其ノ大小ニ拘ラズ遺憾ナク測定スルコトヲ得ベク、又立木ノ細キ場合ハ、斯クシテ測定スルヲ便トス、使用濟ノ際ハ、元ノ如ク器械ヲ疊ミ雌螺旋(い)及(ろ)ヲ緊メ置クモノトス。

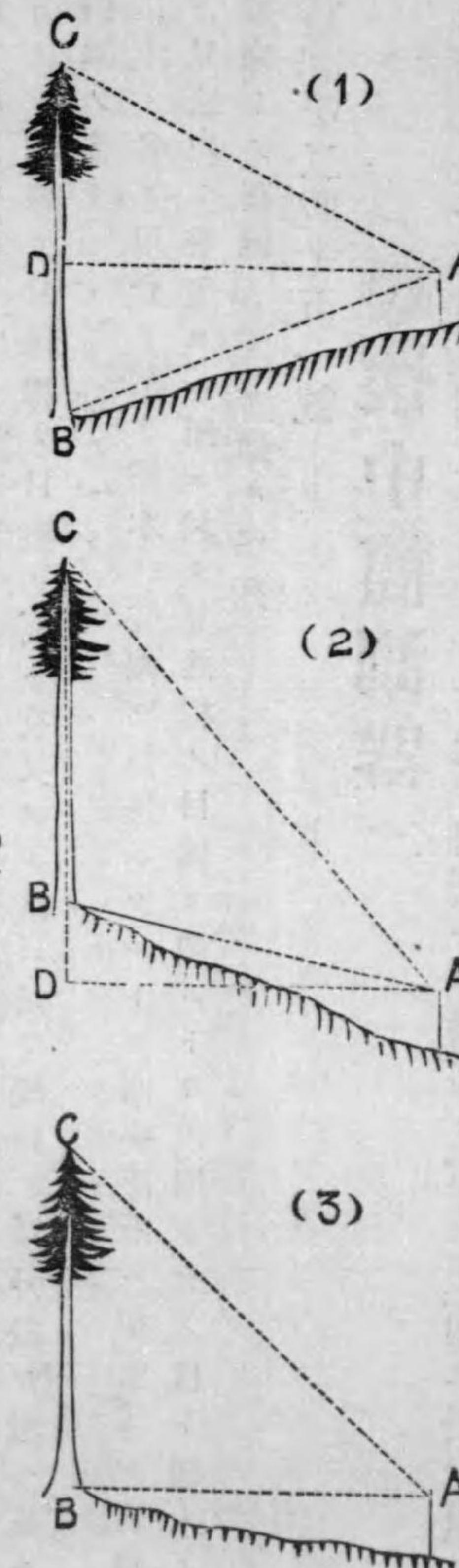
特許第一四二三二一號

測高器

本發明ハ樹木ノ根元ヨリ測定者ノ目マデノ距離ヲ知リテ樹木ノ高サヲ測定スルモノナリ、從來ノ器械ノ如ク水平距離ヲ測定スルノ必要ナシ。○本發明ハ傾斜角ヲ測定スルヲ得ベキ設備ヲ有ス。○磁石附ノ者ハ簡易測量ニ使用スルヲ得ベシ。○裏面ニ水平距高低差計算表ヲ添付セリ。

把柄(い)ノ底面ヲ水平板ノ上ニ載セ、見透桿(ろ)ノ上面即チ目盛ノ面ガ支點ヲ通ス所ノ最上部ノ横線ト一致スルヤ否ヤヲ檢シ、一致スルトキハ器械ニ誤差ナキヲ証明シ、一致セザルトキハ一致スルマデ調節器(は)ヲ移動シ、其ノ移動ノ度ヲ記脣スルモノトス。之ヲ本器ノ検定法トナス。

本器ヲ使用スルニハ把柄(い)ヲ右手ノ指端ニテ支ヘ、角板ヲ自由ニ垂下セシメテ、第八圖ノ如ク樹木ノ根元ヲ見透シ、角板ノ靜止ヲ俟テ、左手ニテ角板ヲ見透桿ニ押



シ付ケ、第九圖ノ如ク其ノ器械ヲ面前ニ引キ寄セ、測定者ノ目ト樹木ノ根元トノ距離ニ相當スル見透桿ノ目盛ガ横線及縦線ト交叉スル所ニ於テ、夫々基線ヨリノ区分數ヲ讀ムトキハ、測定者ト樹木間ノ水平距離(AD)及測定者ノ目ト樹木ノ根元トノ間ノ高サ(AB)知ルベシ(見透桿ノ一分目ヲ間(又ハ尺)ト看做シタルトキハ、板面ノ一分目モ亦間(又ハ尺)ニテ讀ムモノトス)次ギニ樹木ノ尖端ヲ見透シ、ノ如ク高キカ、或ハ(2)ノ如ク低キカニ從ヒ、前者ノ高サ(DB)ヲ後者ノ高サ(CD)

ニ加へ、或ハ前者ノ高サ(BD)ヲ後者ノ高サ(CD)ヨリ減ズルトキハ、樹木ノ高サ(BD)ヲ得ベシ、又右ノ場合ニ於テ、見透桿ノ目盛ノ面ト角板縁トノ交ハリニ於テ、角板周圍ノ度盛ヲ讀ムトキハ、傾斜角ヲ知ルベシ。若シ(3)ノ如ク樹木ノ根元ヨリ測定者ノ目マデノ水平距離(AB)ヲ測ル時ハ、樹木ノ尖端ヲ見透シ、水平距離ニ相當スル縦線ガ、見透桿ノ目盛ノ面ト交叉スル所ニ於テ、縦線ノ區分數ヲ數へ、直ニ樹木ノ高サ(BD)ヲ知ルベシ。

以上ノ各ノ場合ニ於テ、樹木ノ尖端ヲ見透シタルトキ、水平距離ニ相當スル縦線ガ見透桿ト交叉スル所ニ於テ、見透桿ノ目盛ヲ讀ムトキハ、測定者ノ目ト樹木ノ尖端トノ距離(AC)ヲ知ルベシ。

特許第二四七五一號

懷中簡測器

本發明ハ手持用ノ測量器械ニシテ先ツ目標ヲ見透シナガラ正面ニ於テ直ニ傾斜角ヲ讀ミ次ギニ同ジ見透器ヲ使用シ下瞰シテ方位ヲ讀ムベキ裝置ヲ有シ箱形ニ折疊ミテ懷中スルニ適セシメタルモノナリ。

本器ヲ使用スルニハ器械ヲ左手ニ持チ、右手ニテ鏡ヲ開キ、第十圖ノ如ク左眼ニテ目標ヲ見透シナガラ、右眼ニテ指錘ノ中央線ト一致スル角度ヲ鏡面ニテ讀ミ、次ギニ鏡ヲ分度板ニ固着シ、磁針器ヲ沈置セル板面ヲ表ニシテ、其ノ一端(い)ヲ胸部ニ透シ、下瞰シテ方位ヲ讀ミ、次ギニ見透器ヲ角板ニ固着シ、爰ニ傾斜角ヲ測定スルノ準備ヲナスモノトス。

特許第二四七五二號

懷中測量器

本發明モ亦手持用ノ測量器械ニシテ唯一回ノ見透シニテ正面ニ於テ傾斜角ヲ讀ミ下瞰シテ方位ヲ讀ムベキ裝置ヲ有シ之ヲ折疊ミテ懷中スルニ適セシメタルモノトス。

本器ヲ使用スルニハ、磁針器ヲ沈置セル厚板(い)ノ外端ヲ左手ニテ擗ミ、其ノ内端ヲ胸部ニ押シ當テ、右手ニテ分度板ヲ具フル(ろ)ヲ外方ニ押シ開クト同時ニ(は)及(に)ヲ起シテ分度板ヲ九十度回轉シ、見透線ト磁針器ノ γ 線トヲ平行ニナシ、螺旋(ほ)ヲ弛メテ磁針ヲ自由ニシ、次ギニ鏡(へ)ヲ半バ開キ、第十二圖及第十三圖ノ如ク見透器(ご)ニテ目標ヲ見透シ、鏡面ニ於テ傾斜角ヲ讀ミ、下瞰シテ方位ヲ讀ムモノトス、傾斜角ハ仰角ナルトキハ、第十二圖ノ如ク薄板(は)及(に)ヲ合致シテ厚板

(い)ニ直角トナシ、傾斜角ハ俯角ナルトキハ、第十三圖ノ如ク薄板(は)及(に)ヲ合致シテ厚板ニ傾カシメ目標ヲ見透スモノトス、斯クナストキハ、下瞰シテ方位ヲ讀ムコト容易ナルベシ。

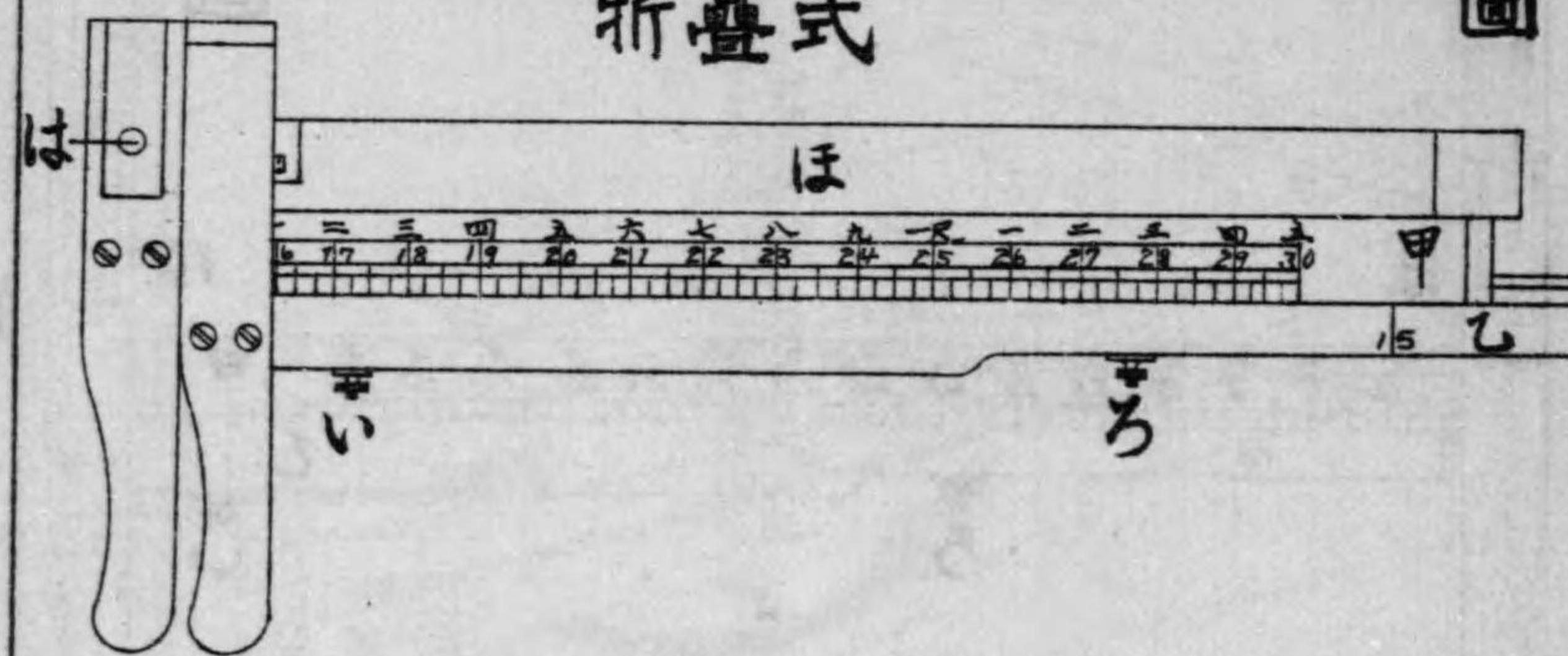
一部特許第一四七五一號

クリノメトター

本器ハ目標ヲ見透シナガラ、鏡(ろ)ヲ開キ、傾斜角ヲ讀ムコト、懷中簡測器ニ異ナラズ、磁石ノ蓋(い)ヲ開クトキハ、蓋ノ面ハ磁石ノN—S線ニ平行チナスペシ、依テ蓋ノ面ヲ測繩ニ沿ハシメ方位ヲ讀ムモノトス。(第七圖參照)

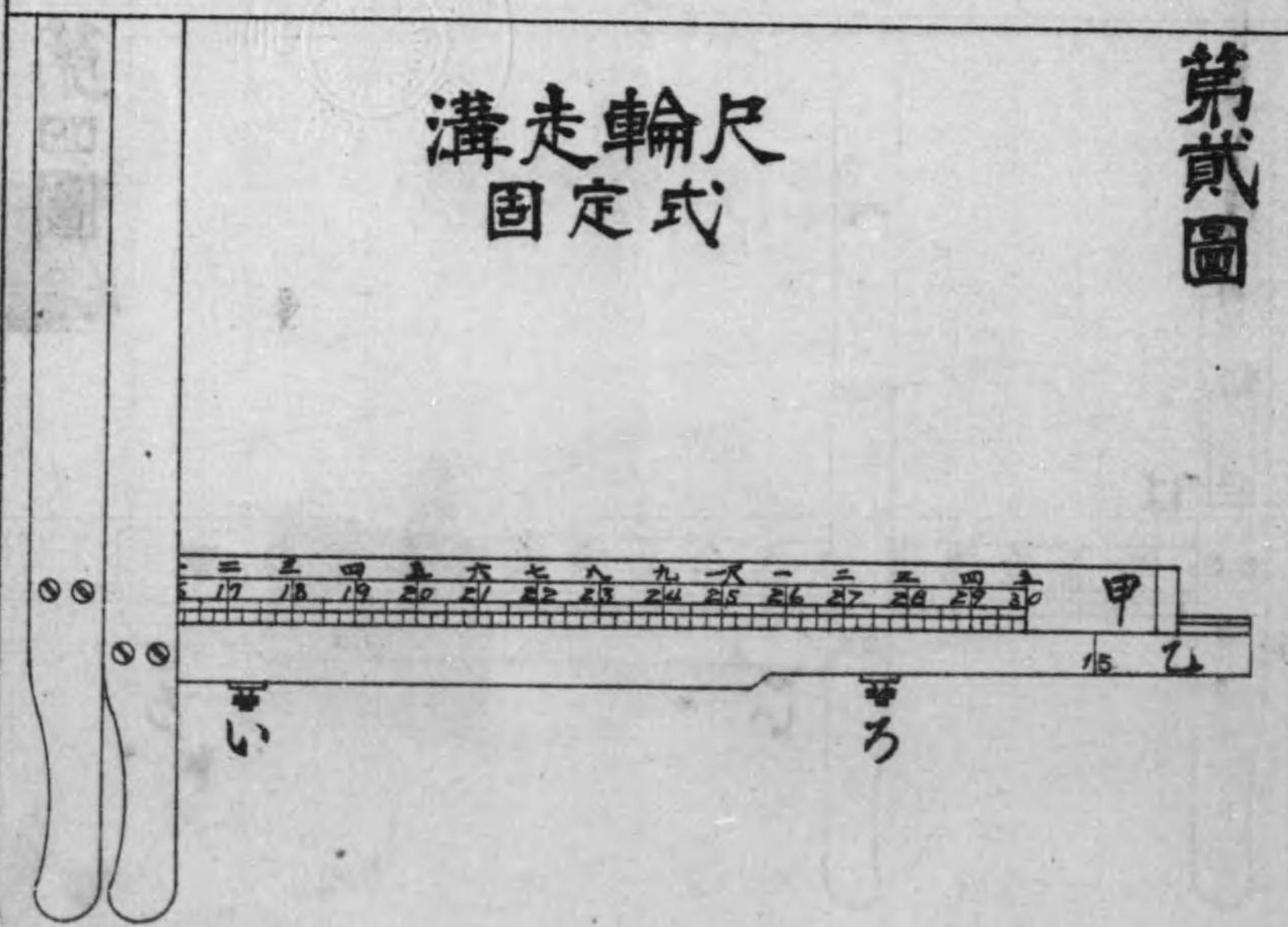
第一圖

溝走輪尺 折疊式



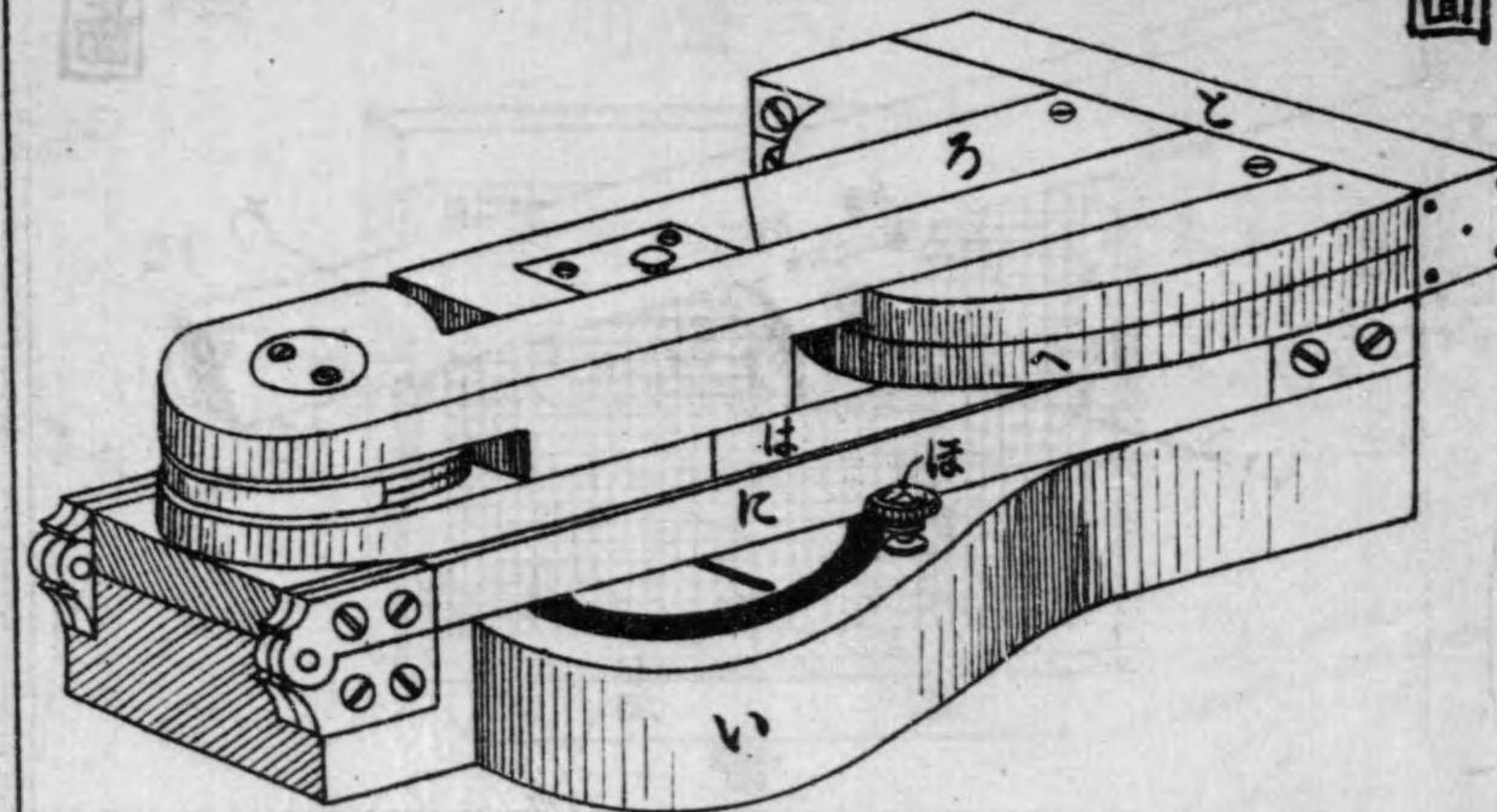
第二圖

溝走輪尺 固定式



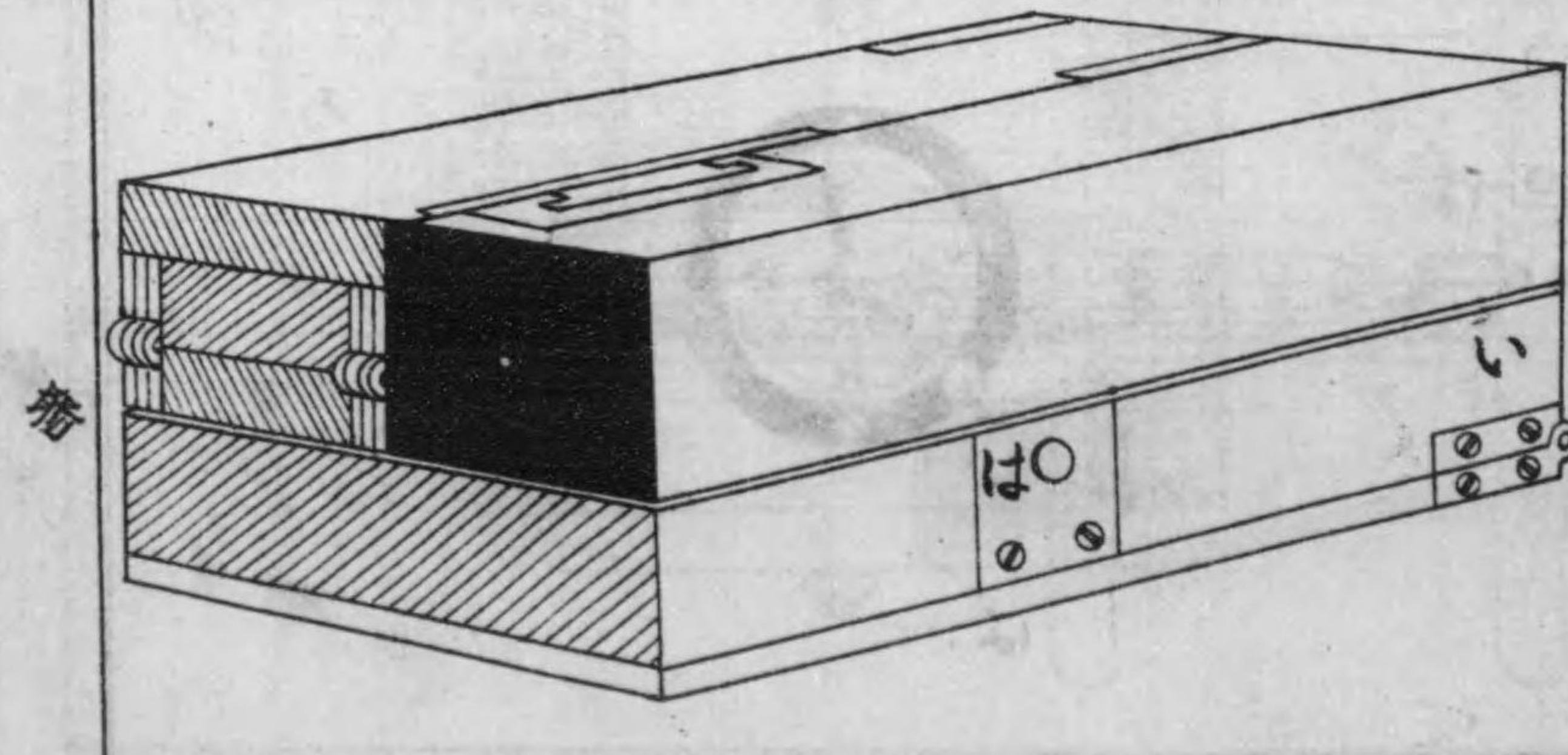
懷中測量器

第五圖



懷中簡測器

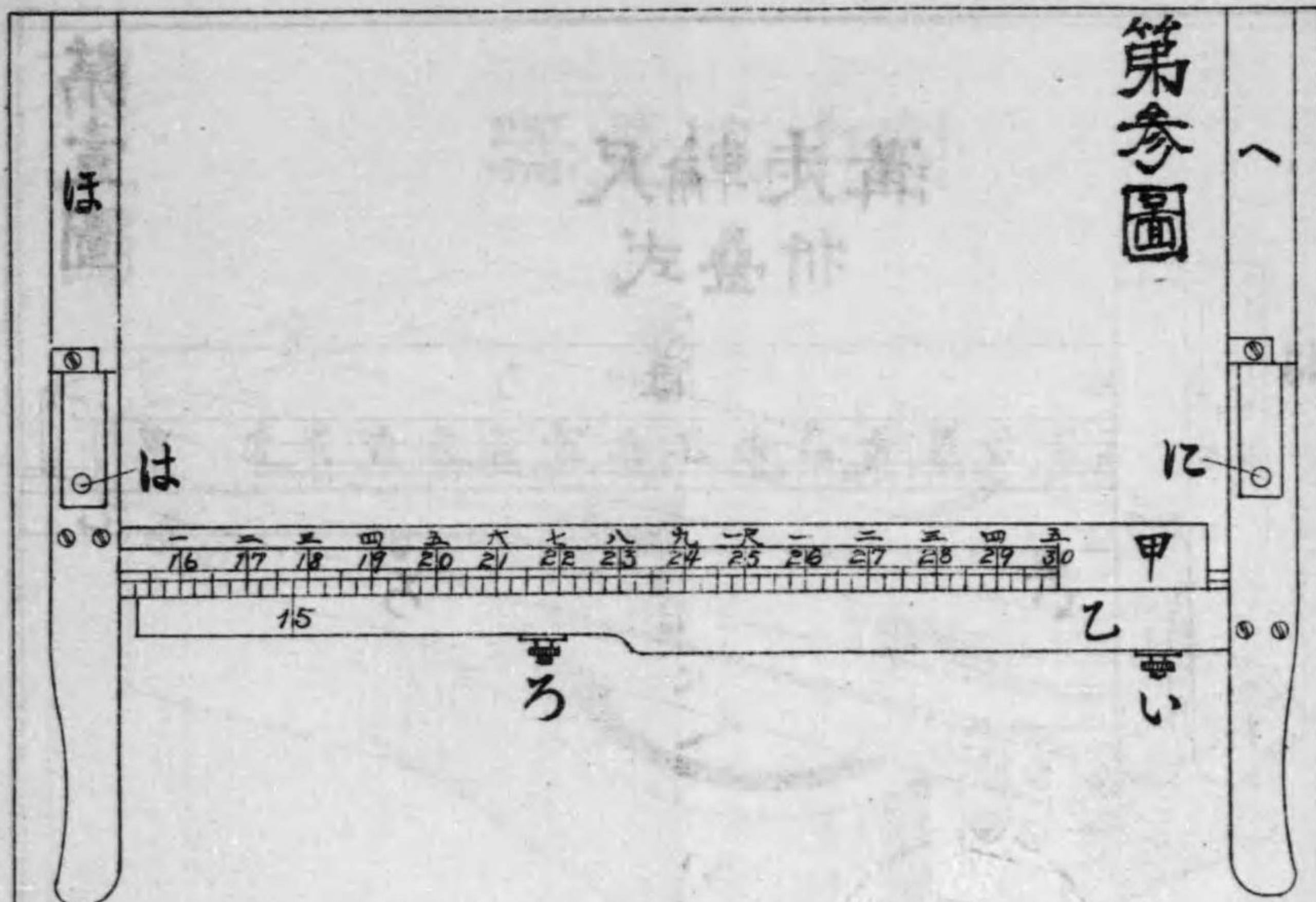
第六圖



參

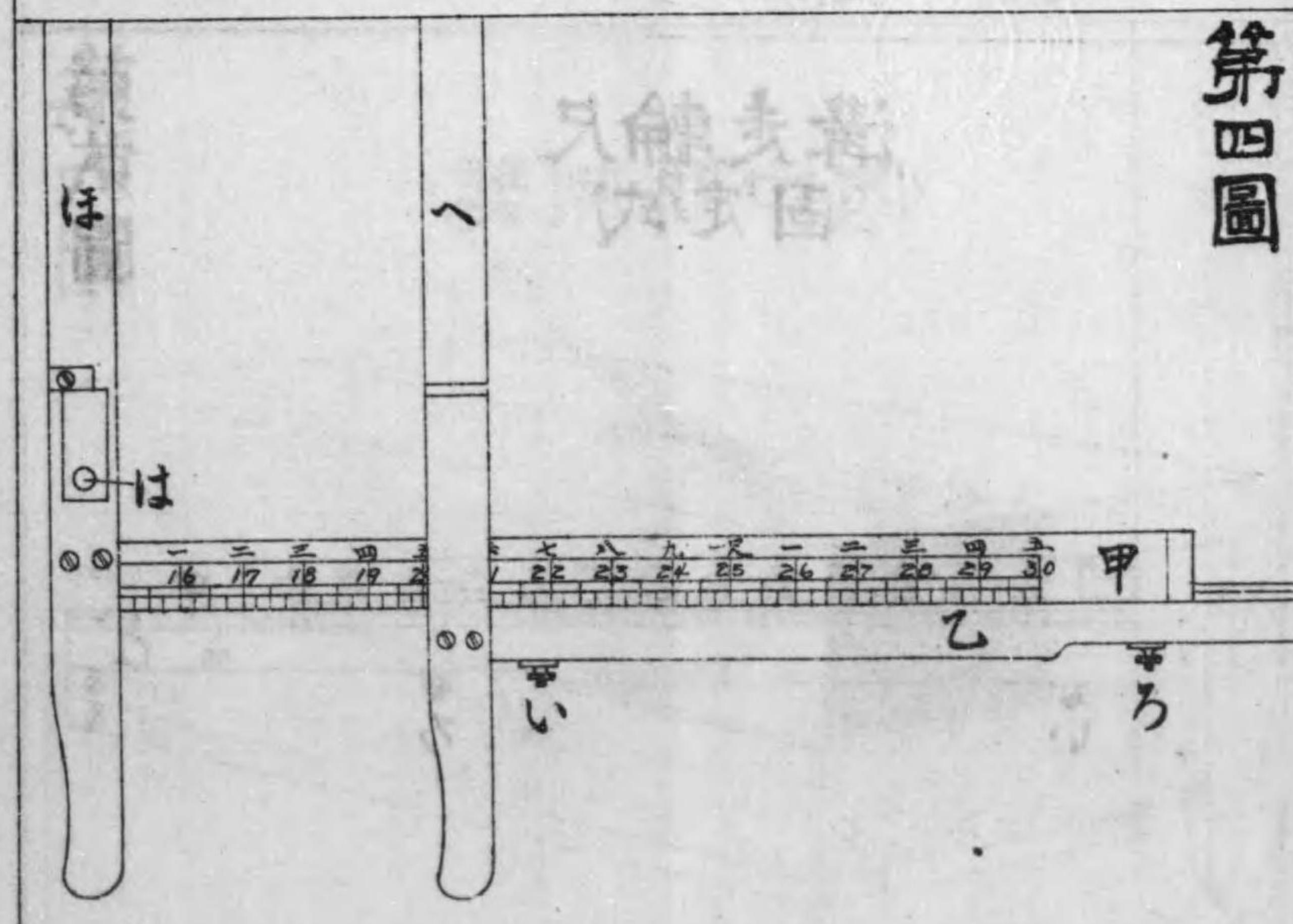
第參圖

へ



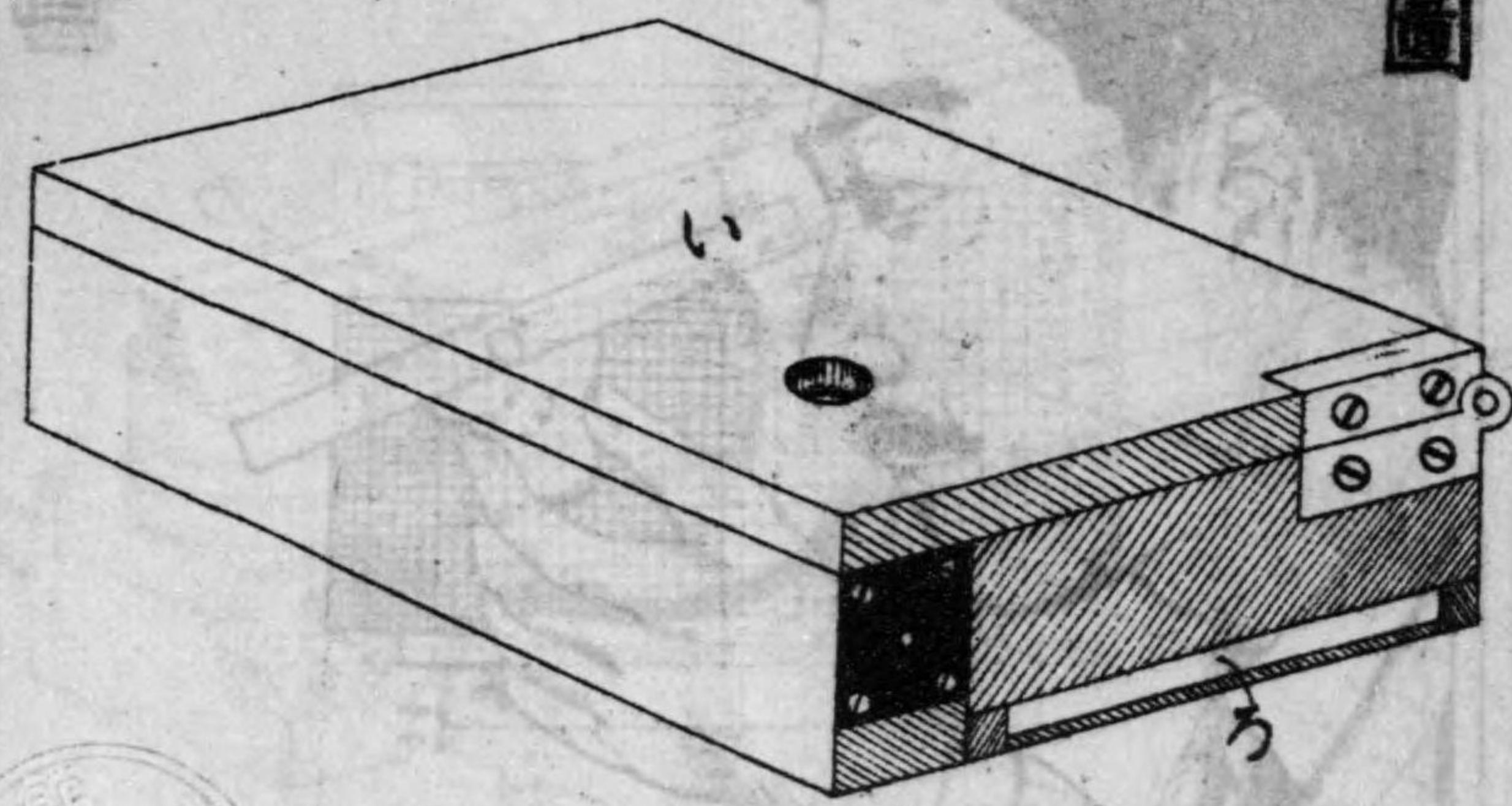
第四圖

戴

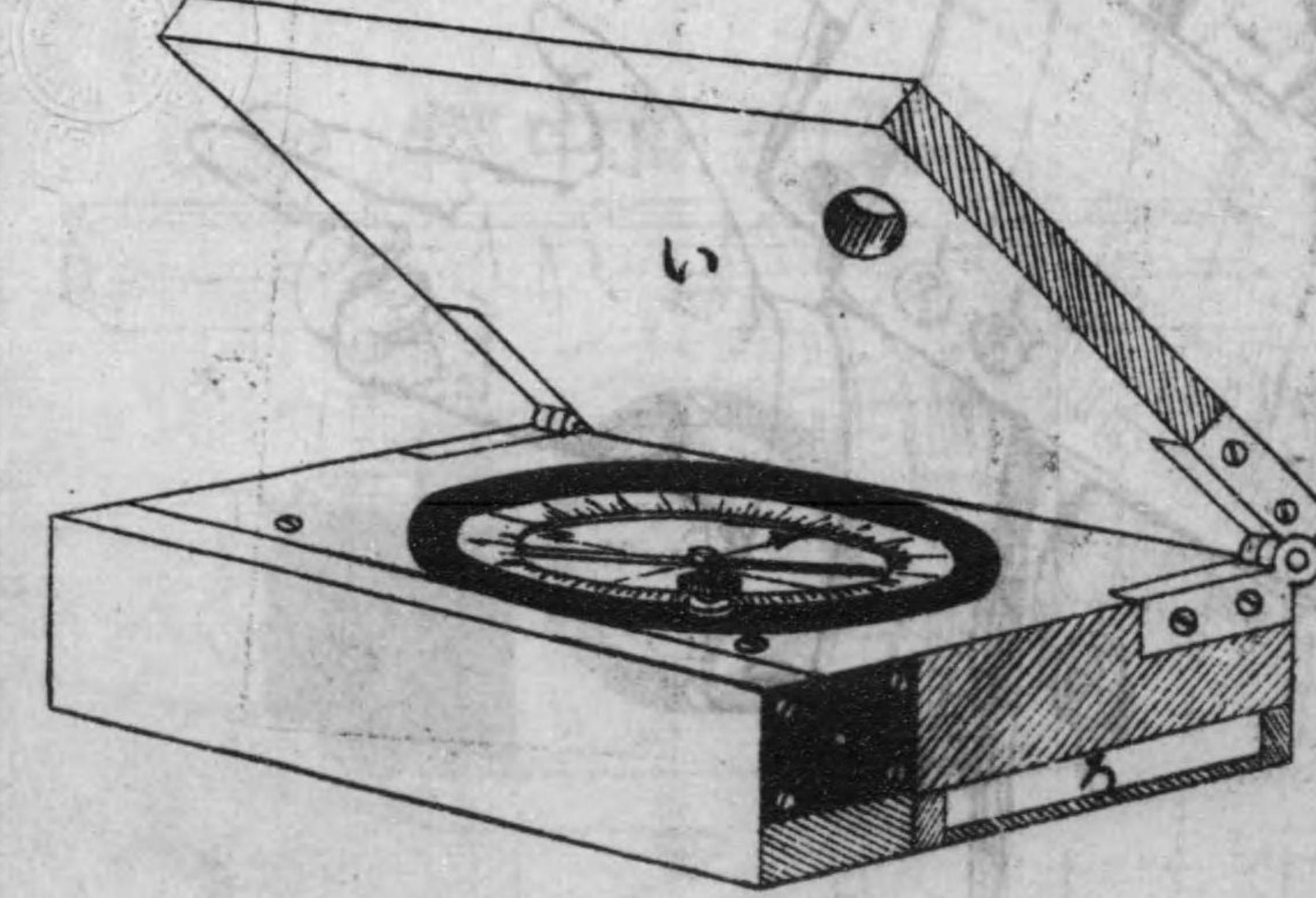


クリノメーター

第八圖

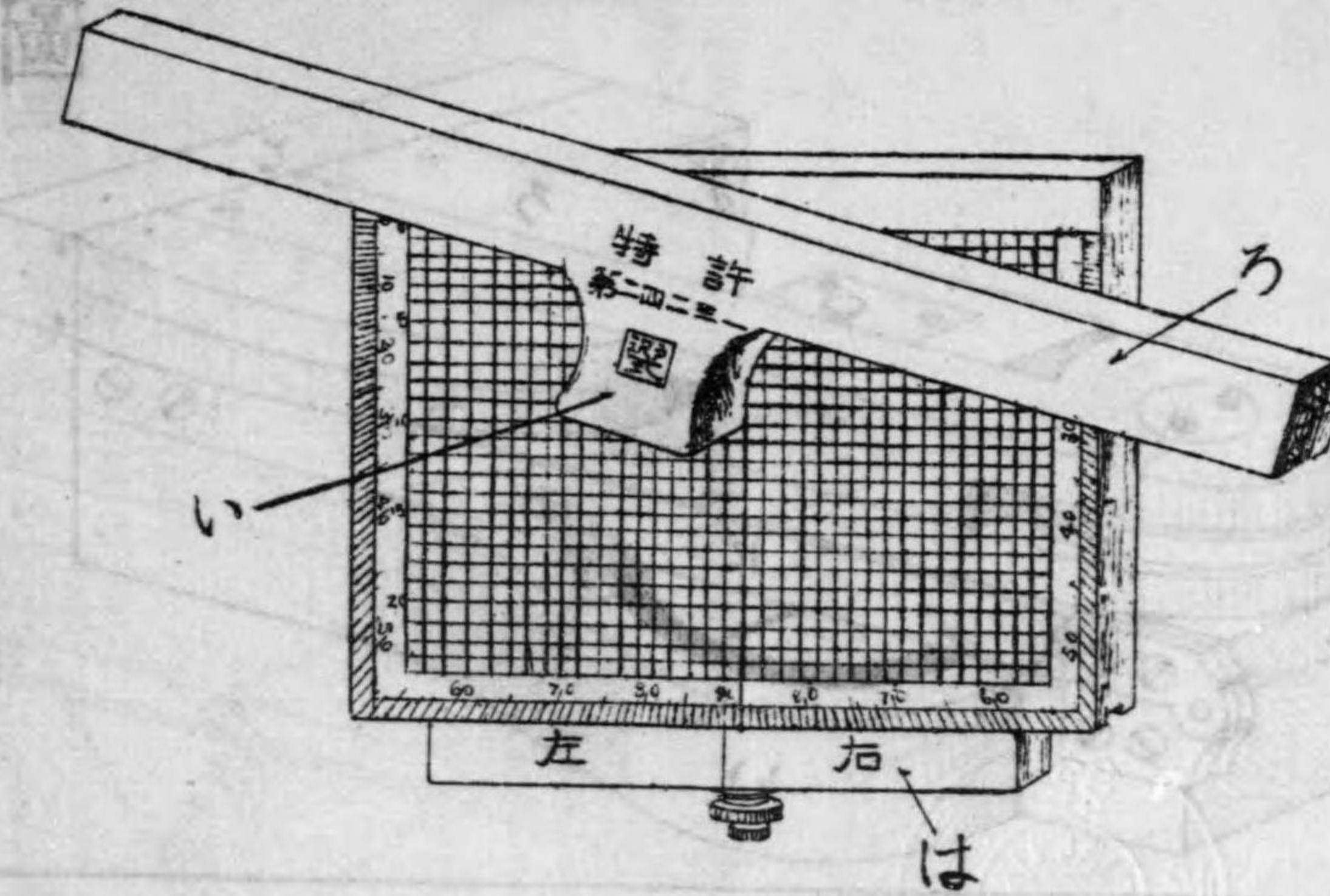


五

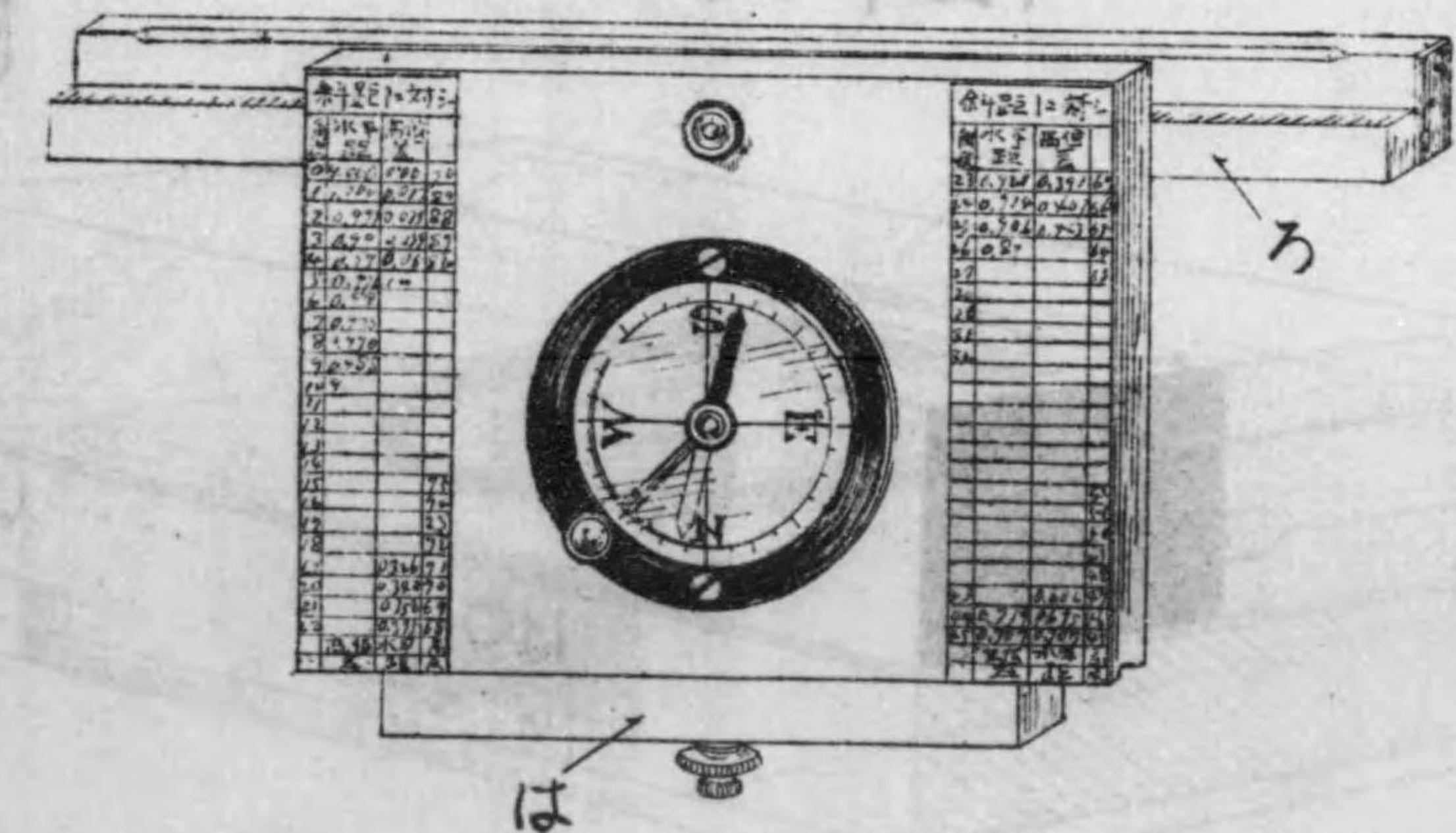


懷中測高器

第七圖



四



第九圖



六

第十圖

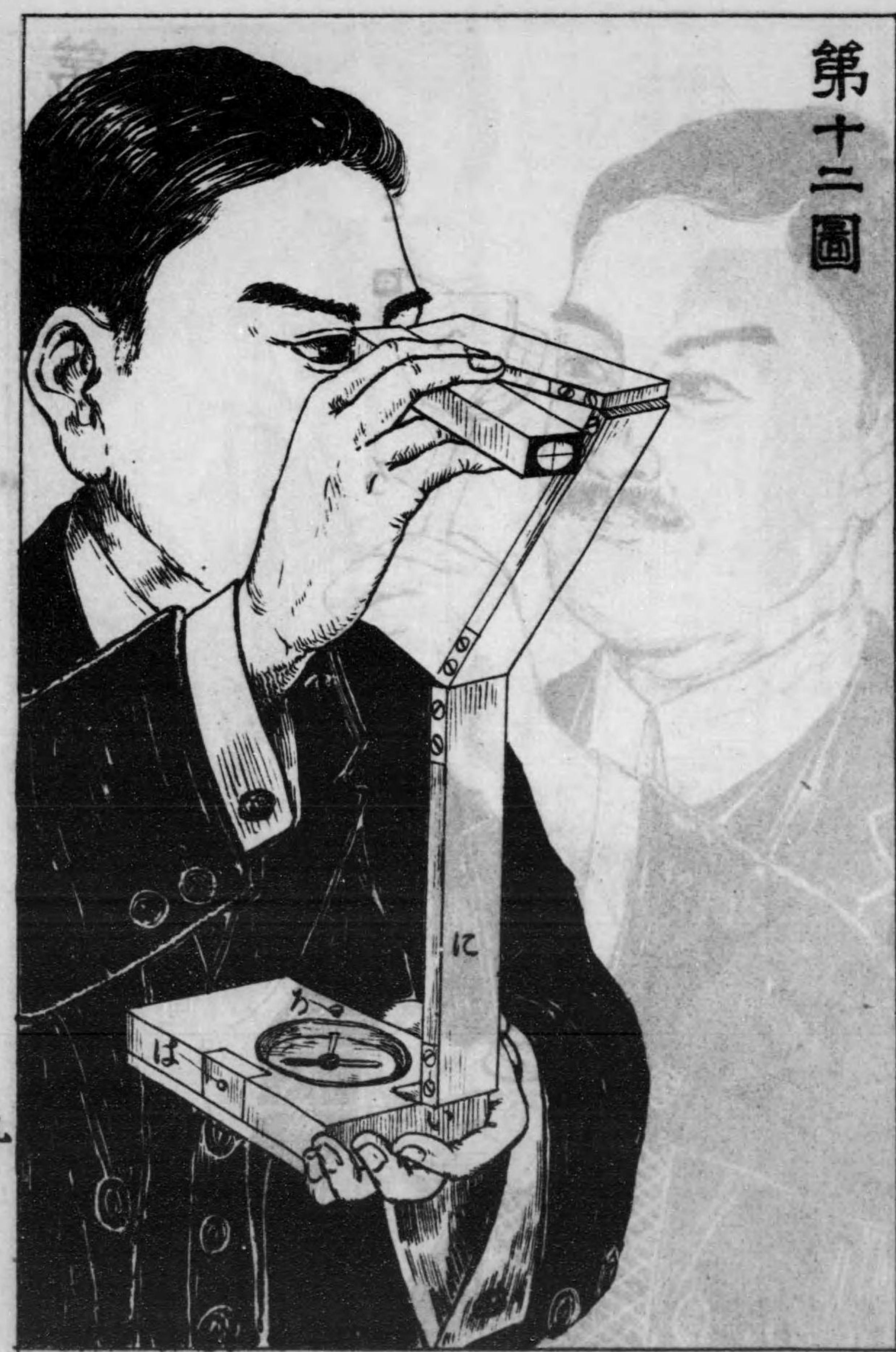


七

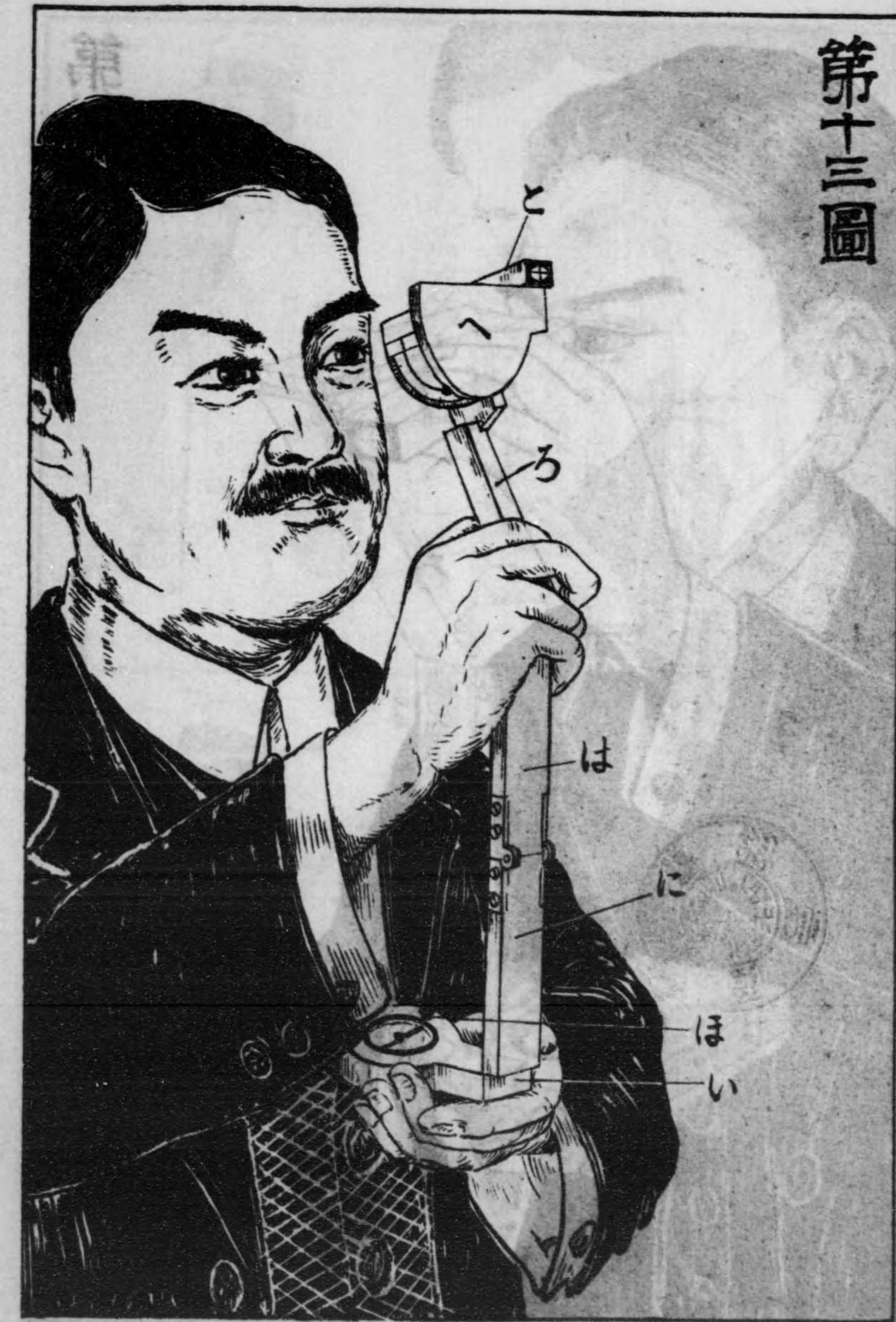
第十一圖



第十二圖



第十三圖



第十四圖



著者識

本書ハ理論ヲ避ケ實用ニ重キヲ置キ、應用復雜ナル者、或ハ用井ラル、コト稀ナル者ハ悉ク之ヲ省キ專ラ初學者ニ實地必須ノ智識ヲ授クルヲ目的トシテ編纂シタルモノナリ故ニ本書ノ説明ヲ了解セバ普通ノ簡易ナル測樹測量ニ不足ナキヲ信ズルモノナリ

大正四年六月

序言



實用測樹法及測量法目次

第一編 測樹法

第一章 丸太材積計算法

一、ふーべる氏ノ公式	一
二、すまりあん氏ノ公式	二
三、りーケ氏ノ公式	三
四、ふーべる氏ノ區分求積公式	四
五、すまりあん氏ノ區分求積公式	七
六、りーケ氏ノ區分求積公式	九

第二章 立木材積計算法

一、ぶれされるる氏ノ望高法	一一
二、形數法〔形數表—すとるちえれつき氏の形數	一四

目次

目 次

第三章 林ノ材積計算法	一八
一、單級法	一一〇
二、階級法	一二三
三、形數表又ハ材積表ニ依ル計算法	二九
第二編 測量法	
第一章 測量	二
第二章 製圖	六
第三章 面積計算法	一二

目 次 終

第一編 測樹法

實用測樹法及測量法

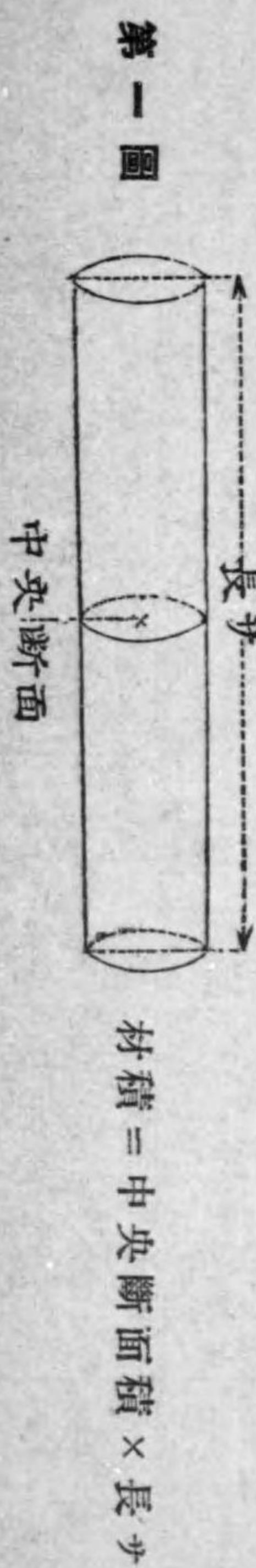
林學士 戸澤又次郎著

第一編 測樹法

第一章 丸太材積計算法

丸太ノ材積ヲ計算スル公式、數多アリト雖、爰ニハ最モ普通ナル者、三ツヲ選ミ説明スペシ。

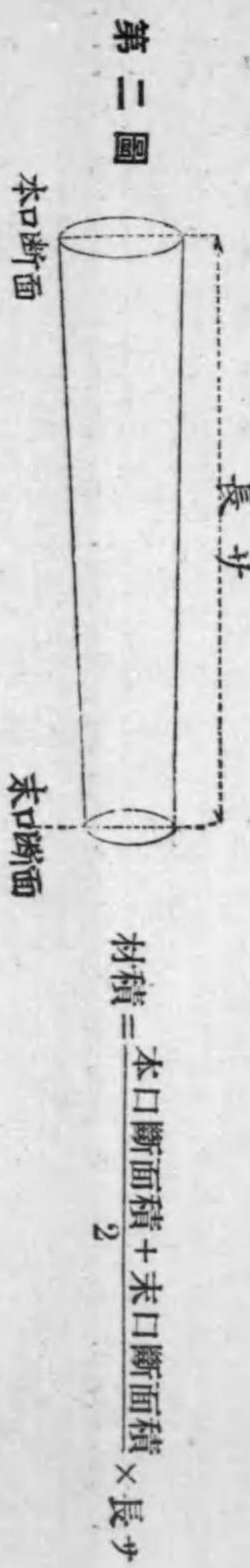
一、ふーべる氏ノ公式。丸太ノ中央斷面積ヲ求メ、之ニ長サヲ乘ズルトキハ、材積ヲ得ベシ。



例一 中央直徑一尺二寸、長サ七尺ノ丸太アリ、其ノ材積ヲ問フ。
直徑一尺二寸ノ圓面積ハ、圓積表ニ依リ 1.13097 平方尺ナリ、依テ

$$\text{材積} = 1.13097 \times 7 = 7.9168 \text{ 立方尺}$$

「すまりあん氏ノ公式、丸太ノ本口及末口ノ斷面積ノ和ヲ
二分シテ、之ニ長サヲ乘ズルトキハ、材積ヲ得ベシ。



例二 本口直徑一尺三寸、末口直徑一尺二寸五分、長サ十三尺ノ丸太アリ、其ノ
材積ヲ問フ。

直徑一尺三寸及直徑一尺二寸五分ノ圓面積ハ、圓積表ニ依リ、夫々 1.32732
平方尺及ビ 1.22719 平方尺ナリ、依テ

$$\text{材積} = \frac{1.32732 + 1.22719}{2} \times 13 = 16.6043 \text{ 立方尺}$$

ミ、り、一、け、氏、ノ、公、式。丸太ノ本口及末口断面積ノ和ニ、中央断
面積ノ四倍ヲ加ヘ、之ニ長サヲ乘シ、六ニテ除スルトキハ、材積
ヲ得ベシ。



$$\text{材積} = \frac{\text{長サ}}{6} (\text{本口断面積} + 4 \times \text{中央断面積} + \text{末口断面積})$$

例三 本口直徑一尺五寸、中央直徑一尺四寸五分、末口直徑一尺四寸ノ十二尺
丸太アリ、其ノ材積ヲ問フ。

$$\text{材積} = \frac{12}{6} (1.76715 + 4 \times 1.65130 + 1.53938) = 19.8235 \text{ 立方尺}$$

り、一、け、氏、ノ、公、式、ハ、最、モ、精、確、ニ、シ、テ、ふ、一、べ、る、氏、及、す、ま、り、あ、ん、
氏、ノ、公、式、ハ、夫、々、稍、過、小、及、過、大、ノ、結、果、ヲ、與、フ、ル、傾、向、ア、リ。ふ、一、
べ、る、氏、ノ、公、式、ハ、簡、單、ナ、ル、ノ、故、ヲ、以、テ、最、モ、廣、ク、實、用、ニ、供、セ、ラ、

レ、リーケ氏ノ公式ハ、學術上ニ應用セラル、外、實用ニ供セラル、コト殆ト稀ナリ。

直徑ヲ測ルニハ、輪尺ヲ用ヒ、斷面積ハ、斷面ノ直徑ニ相當スル圓面積ヲ以テ之ヲ表ハシ、而シテ精密ヲ要スル場合ニハ、斷面ノ直徑ヲ十字形ニ測リ、此等ヲ平均シタル者ヲ以テ斷面ノ直徑トナス。

長サヲ測ルニハ、卷尺ヲ用ヒ、材ニ沿ウテ測ルヲ普通トナス。以上ノ公式ヲ、長キ丸太ニ應用スルトキハ、精密ナル結果ヲ得ル能ハザルベシ、故ニ長キ丸太ハ、之ヲ數多ニ等分シテ、各區分毎ニ、右ノ公式ヲ適用シテ、一々材積ヲ計算シ、後合計セザルベカラズ、左ニ之ニ關スル公式ヲ示サン。

四、ふ・一・べ・る・氏・ノ・區・分・求・積・公・式・



材積 = 中央斷面積合計 × 區分ノ長サ

例四 三十六尺ノ丸太アリ、之ヲ六ツニ等分シ、各區分ノ中央直徑ヲ測リ、之ニ對スル圓面積ヲ求メタルニ左表ノ如シ、丸太ノ材積ヲ問フ。

中央斷面番號	1	2	3	4	5	6	合計
中央直徑(尺)	1.60	1.55	1.40	1.35	1.25	1.15	
圓面積(平方尺)	2.01062	1.88692	1.53938	1.43139	1.22718	1.03869	9.13418

全長三十六尺ヲ六ツニ等分シタルタメ、各區分ノ長サハ、六尺トナルベシ、依テ

$$\text{材積} = 9.13418 \times 6 = 54.8051 \text{立方尺}$$

例五 四十尺ノ樹幹アリ、本口ヨリ六尺置キニ區分シタルニ、梢端四尺ヲ殘セ

第一編 測樹法

リ、而シテ各區分ノ中央直徑及梢端ノ中央直徑、左表ノ如シ、樹幹ノ材積ヲ問フ。

中央斷面番號							梢 端 部		
	中央直徑 (R)	中間直徑 (R)	長サ	中央斷面積 (平方尺)	中間斷面積 (平方尺)	長サ	計	中央直徑 (R)	中間直徑 (R)
1	0.95	0.80	0.75	0.60	0.45	0.30	0.200	0.03142	4.0
2	0.70882	0.50265	0.44179	0.28274	0.15904	0.07069	0.16573		



梢端部ノ材積ハ $0.03142 \times 4 = 0.12568$ 平方尺 リシテ幹部ノ材積ハ中央斷面積合計ニ區分ノ長サ六尺ヲ乘シタル者即チ

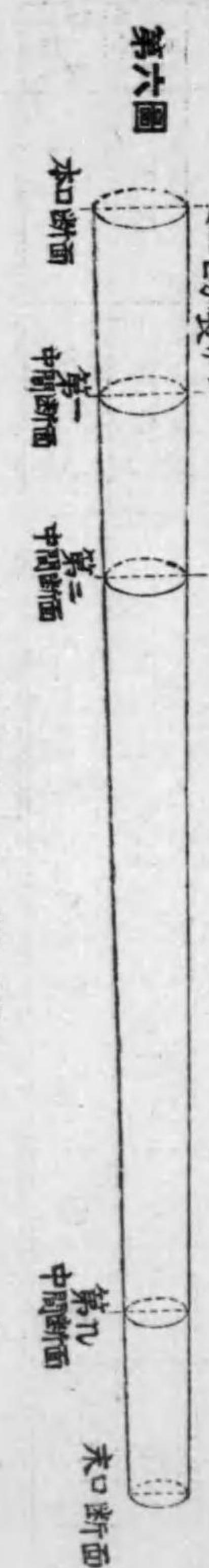
$$2.16573 \times 6 = 12.99438$$
 立方尺

ナリ、故ニ樹幹ノ材積ハ。

$$\text{材積} = 12.99438 + 0.12568 = 13.1201$$
 立方尺

トナリ。

五、す・ま・り・あ・ん・氏・ノ・區・分・求・積・公・式・



$$\text{材積} = \text{區分ノ長サ} \times \left(\frac{\text{本口断面積} + \text{末口断面積}}{2} + \text{中間断面積合計} \right)$$

即チ全幹材ヲ數多ニ等分シテ、各區分ノ直徑ヲ測リ、而シテ本口及末口斷面積ノ和ヲ二分シ、之ニ中間斷面積ノ合計ヲ加フルトキハ、丸太ノ材積ヲ得ベシ。

例六 二十四尺ノ丸太アリ、之ヲ四ツニ等分シ、各區分ノ直徑ヲ測リ、之ニ對スル圓面積ヲ求メタルニ左表ノ如シ、丸太ノ材積ヲ問フ。

區分斷面番號	本 口	第 一	第 二	第 三	末 口
區分直徑 (R)	1.70	1.65	1.60	1.55	1.45
圓面積(平方尺)	2.26980	2.13825	2.01062	1.88692	1.65130

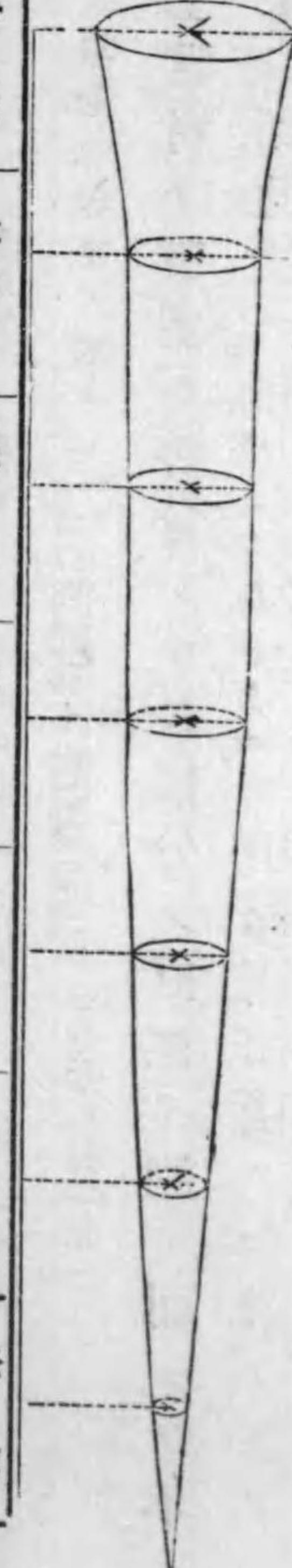
八

本口及末口断面積ノ和 $\times 3.92110$ 平方尺 $=$ シテ、中間断面積合計 $\times 6.03579$ 平方尺ナリ、而シテ區分ノ長サハ六尺ナルヲ以テ

$$\text{材積} = 6 \left(\frac{3.92110}{2} + 6.03579 \right) = 47.9780 \text{ 立方尺}$$

例七 四十一尺ノ樹幹アリ、本口ヨリ六尺置キニ區分シタルニ、梢端五尺ヲ残セリ、而シテ各區分ノ直徑及梢端部ノ本口直徑左表ノ如シ、樹幹ノ材積ヲ問フ。

第七圖



断面積 本口	第一	第二	第三	第四	第五 (梢端部 本口)
區分ノ 直徑 (R.)	0.80	0.65	0.60	0.55	0.40
圓面積 (平方尺)	0.50265	0.33183	0.28274	0.23758	0.12566 0.01621 0.03142

本口及末口断面積ノ和 $\times 3.92110$ 平方尺 $=$ シテ、中間断面積即チ第一モリ第五

= 至ルマデノ断面積ノ和 $\times 1.07402$ 平方尺ナラ、而シテ區分ノ長サハ六尺ナルヲ以テ、

$$\text{幹部材積} = 6 \left(\frac{0.53407}{2} + 1.07402 \right) = 8.0464 \text{ 立方尺}$$

又幹部ノ末口直徑ハ、則チ梢端部ノ本口直徑ニシテ、梢端部ノ長サハ五尺ナレバ、

$$\text{梢端部材積} = 5 \left(\frac{0.03142}{2} + 0 \right) = 0.0786 \text{ 立方尺}$$

トナルベシ、依テ

$$\text{樹幹材積} = \text{幹部材積} + \text{梢端部材積} = 8.0464 + 0.0786 = 8.1250 \text{ 立方尺}$$

六・リ・一・け氏ノ區分求積公式



第八圖

$$\text{材積} = \frac{\text{區分ノ長サ}}{3} (\text{本口断面積} + \text{末口断面積} + 4 \times \text{奇數中間断面積合計} + 2 \times \text{偶數中間断面積合計})$$

此ノ公式ニテ、丸太ノ材積ヲ求メントセバ、區分ノ數ハ、必ズ偶數ナラザルベカラズ、詳シク言ヘバ、本口斷面ノ次ギノ斷面ヨリ數ヘテ、最後ノ斷面(末口斷面)ノ番號ハ、常ニ偶數ナルヲ要ス。若シ最後ノ斷面ガ、奇數ノ番號ニ當ルトキハ、最後ノ斷面ノ前ノ中間斷面マデ、本公式ヲ適用シテ、其ノ材積ヲ求メ、最後ノ斷面ト其ノ前ノ中間斷面トノ間ノ材積ハ、別ニ計算シテ、之ヲ加ヘザルベカラズ。

例六ノ丸太ハ偶數ニ等分サレ居ルヲ以テ、其ノ材積ハ全部本公式ニテ求メラルマシ。

$$\text{本口断面積} + \text{末口断面積} = 3.92110,$$

$$\text{奇数中間断面積合計} = 4.02517 \text{ 及偶数中間断面積合計} = 2.01062$$

ナルタメ

$$\text{材積} = \frac{6}{3} (3.92110 + 4 \times 4.02517 + 2 \times 2.01062 = 48.0860 \text{ 立方尺})$$

トナル

例七ノ樹幹ノ幹部モ亦偶數ニ等分セラレ居ルタメ、直ニ本公式ヲ適用シテ、其ノ材積ヲ求ムルヲ得ベシ、即チ

$$\text{本口断面積} + \text{末口断面積} = 0.53407$$

$$\text{奇数中間断面積合計} = 0.66562 \text{ 及偶数中間断面積合計} = 0.40840$$

ナルタメ

$$\text{幹部材積} = \frac{6}{3} (0.53407 + 4 \times 0.66562 + 2 \times 0.40840) = 8.0267 \text{ 立方尺}$$

トナル、然ルニ梢端部ノ材積ハ、0.0786立方尺ナルヲ以テ、

$$\text{樹幹材積} = 8.0267 + 0.0786 = 8.1053 \text{ 立方尺}$$

トナルベシ。

以上三ツノ公式ノ内、一ぐる氏ノ區分求積公式ハ、式ノ簡単ナル點ヨリ、最モ廣ク實用ニ供セラル。

第二章 立木材積計算法

立木ノ太サヲ定ムルニハ、胸高直徑ヲ以テス、胸高直徑トハ、地

上四尺ノ高サノ直徑ニシテ、傾斜地ニ在リテハ、峯ノ方ノ地上ヲ基點トナス。

一、ぶれすれる氏ノ望高法

樹幹ニ於テ、胸高直徑ノ二分ノ一ノ直徑ノアル所ヲ望點ト云ヒ、其ノ高サヲ望高ト稱ス、望高ヲ知ルトキハ、左ノ式ニ依リ、樹幹ノ材積ヲ得ベシ。

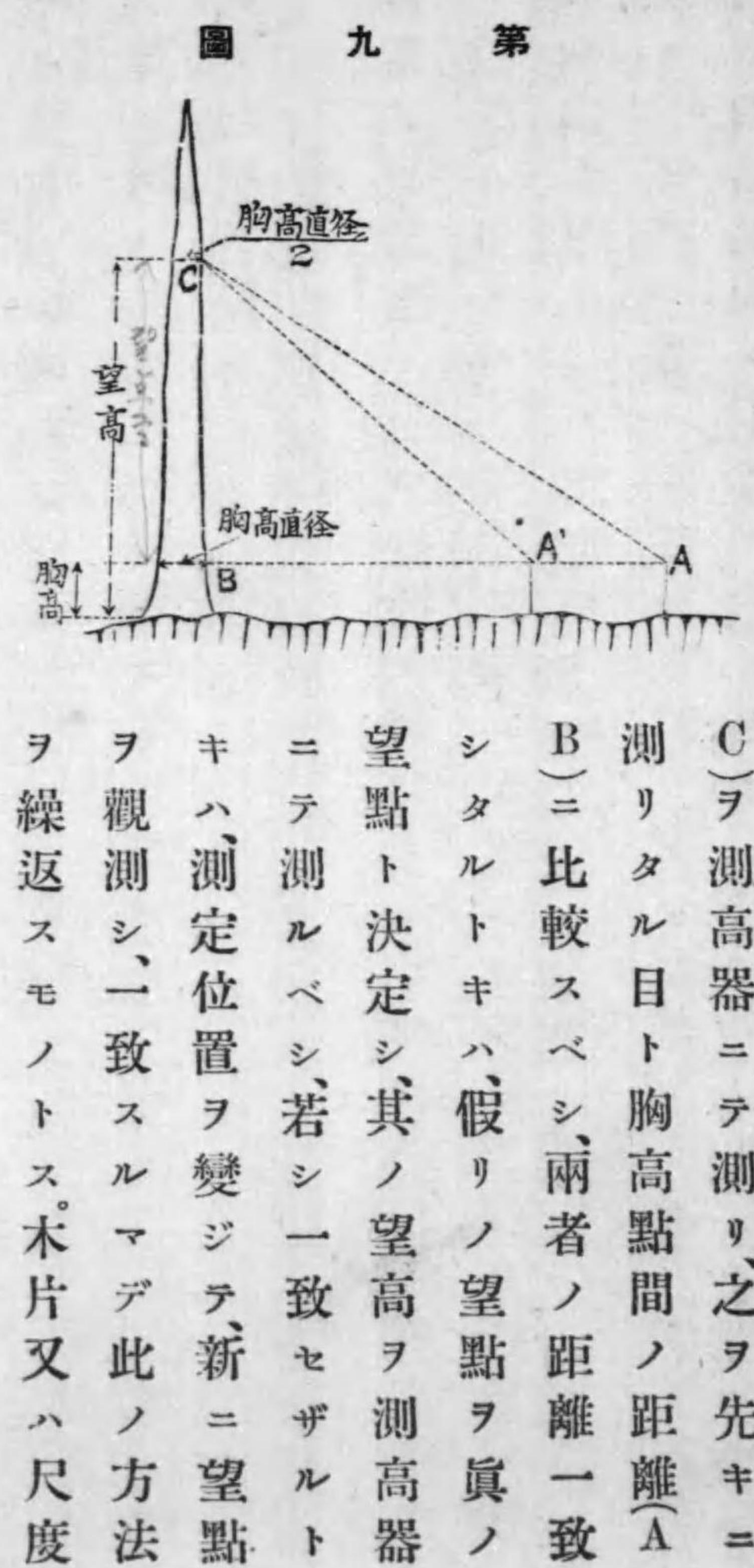
$$\text{樹幹ノ材積} = \frac{2}{3} \times \text{胸高断面積(望高 + \frac{1}{2} \text{胸高})}$$

望高ノ測定法

先ツ樹幹ヲ適當ニ(A)ニ離レテ、目ト胸高點間ノ距離(AB)ヲ測リ、及木片又ハ尺度ニテ胸高直徑ヲ透視シ、透視胸高直徑ノ長サヲ定ムベシ。

次キニ望高ト覺シキ點ヨリ目マデノ距離ガ、先キニ測リタル目ト胸高點間ノ距離(AB)ニ等シト思ハル、個所(A')ニ於テ、透視胸高直徑ノ二分ノ一ノ長サニテ、樹幹ノ太サヲ見透シ、此ノ

長サト一致スル所ヲ假リノ望點トナシ、目ト望點間ノ距離(A



C)ヲ測高器ニテ測リ、之ヲ先キニ測リタル目ト胸高點間ノ距離(AB)ニ比較スベシ、兩者ノ距離一致シタルトキハ、假リノ望點ヲ眞ノ

望點ト決定シ、其ノ望高ヲ測高器ニテ測ルベシ、若シ一致セザルトキハ、測定位置ヲ變ジテ、新ニ望點ヲ觀測シ、一致スルマデ此ノ方法ヲ繰返スモノトス。木片又ハ尺度ト目トノ距離ハ、常ニ一定シ置カズルベカラズ

例八 立木アリ、胸高直徑(地上四尺ノ直徑)二尺、望高七十八尺トナス、此ノ立木ノ幹材積ヲ問フ。

$$\text{幹材積} = \frac{2}{3} \times 3.14159\text{平方尺} \times (78\text{尺} + \frac{1}{2} \times 4\text{尺})$$

$$= \frac{2}{3} \times 3.14159\text{平方尺} \times 80\text{尺} = 167.551\text{立方尺}$$

二、形數法

立木ノ材積ヲ、樹幹ノ斷面積ニ樹高ヲ乘ジタル者ニテ、除シタル商ヲ形數ト云ヒ、其ノ斷面ガ、胸高斷面ナルトキハ、其ノ形數ヲ胸高形數ト云ヒ、其ノ斷面ガ、樹高ノリ分ノ一ノ高サノ者ナルトキハ、其ノ形數ヲ正形數ト云フ、又立木ノ材積ガ全木材積ナルトキハ、其ノ形數ヲ全木形數ト云ヒ、樹幹ノ材積ナルトキハ、其ノ形數ヲ幹材形數ト稱ス。

形數知レ居ルトキハ、之ニ断面積及ビ樹高ヲ乘ジテ、材積ヲ求ムルコトヲ得ベシ。

同一樹種ニ就キ。大小數多ノ樹幹ノ形數ヲ算出シ、此等ヲ高サ及ビ太サ別ニ平均シテ、多少ノ訂正ヲ施シタル者ヲ、夫々高サ

及ビ太サノ形數ト稱ス、第一表ハ著者ノ研究セル高サ及ビ太サノ幹材胸高形數表トナス。

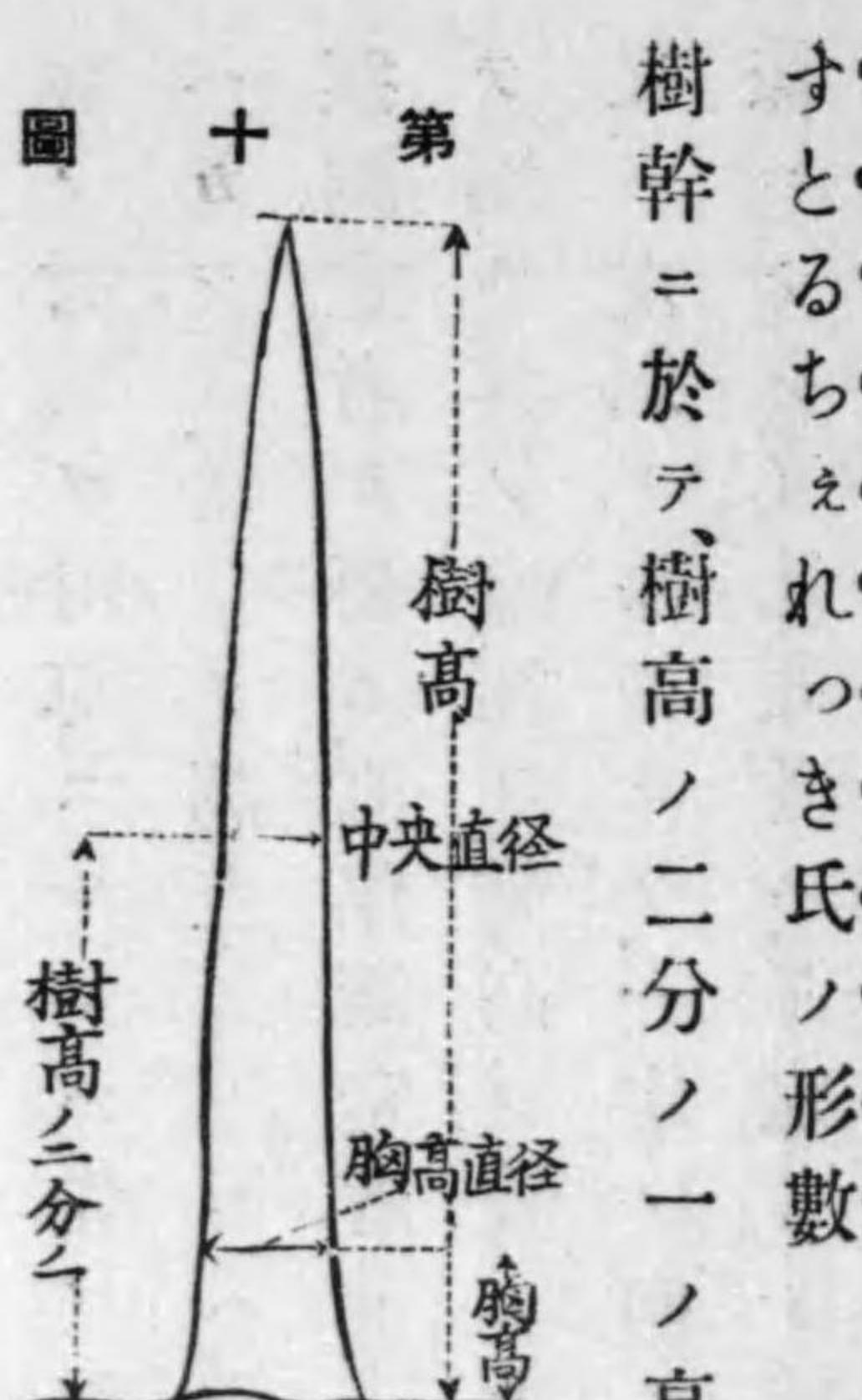
高サノ形數ヲ用ヒテ、太キ樹幹ノ材積ヲ計算スルトキハ、常ニ過大ノ結果ヲ得ベク、且ツ其ノ誤差著大ナルベシ。

形數表ハ高サ又ハ太サノ同一ナル樹幹ノ形數ヲ平均シタル者ナレバ、林ノ材積ヲ計算スルニ使用スペキモノニシテ、一樹ノ材積計算ニ應用スペキモノニアラズ、形數ヲ基礎トシテ調製セラレタル材積表モ亦然ラザルヲ得ズ、若シ之ニ依リ、一樹ノ材積ヲ計算スルトキハ、著大ナル誤差ヲ生ズルコトアルヲ忘ルベカラズ。

表一 第

樹高 (m)	高サノ形數表					太サノ形數表					
	幹材胸高形數					幹材胸高形數					
	杉	扁柏	樅	梅	赤松		杉	扁柏	樅	梅	赤松
2	0.610	0.565	...	3	0.707	0.579	0.606	0.538	0.552
3	0.708	0.530	0.556	0.536	...	4	0.605	0.548	0.574	0.523	0.543
4	0.593	0.511	0.522	0.520	0.510	5	0.532	0.520	0.546	0.510	0.536
5	0.548	0.495	0.500	0.504	0.502	6	0.503	0.493	0.525	0.500	0.530
6	0.519	0.480	0.481	0.490	0.495	7	0.488	0.469	0.507	0.491	0.525
7	0.501	0.465	0.468	0.476	0.490	8	0.477	0.450	0.495	0.485	0.520
8	0.487	0.452	0.455	0.466	0.485	9	0.471	0.440	0.485	0.479	0.515
9	0.478	0.439	0.446	0.457	0.481	10	0.465	0.431	0.475	0.473	0.510
10	0.469	0.427	0.440	0.448	0.478	11	0.460	0.424	0.466	0.468	0.505
11	0.460	0.418	0.440	0.441	0.476	12	0.455	0.418	0.458	0.462	0.502
12	0.453	0.414	0.440	0.434	0.476	13	0.449	0.414	0.450	0.457	0.499
13	0.445	0.413	0.440	0.428	0.476	14	0.444	0.410	0.446	0.451	0.495
14	0.436	0.412	0.440	0.422	0.476	15	0.439	0.405	0.443	0.446	0.492
15	0.430	0.412	0.440	0.417	0.476	16	0.435	0.402	0.441	0.440	0.489
16	0.422	0.412	0.440	0.414	0.476	17	0.436	0.397	0.440	0.436	0.487
17	0.416	0.412	0.440	0.410	0.476	18	0.427	0.395	0.437	0.430	0.484
18	0.409	0.412	0.440	0.409	0.476	19	0.423	0.392	0.436	0.426	0.482
19	0.404	0.412	0.440	0.407	0.476	20	0.418	0.390	0.434	0.421	0.481
20	0.393	0.440	0.406	0.476	...	21	0.414	0.389	0.432	0.417	0.480
21	0.394	0.440	0.405	0.476	...	22	0.410	0.387	0.430	0.414	0.478
22	0.389	0.440	0.476	23	0.405	0.386	0.429	0.410	0.477
23	0.385	0.476	24	0.401	0.384	0.427	0.408	0.475
24	0.381	0.476	25	0.397	0.383	0.425	0.406	0.474
25	0.377	0.392	0.381	0.423	0.404	26	0.388	0.380	0.421	0.402	0.470
26	0.374	0.385	0.378	0.418	0.400	27	0.385	0.377	0.414	0.396	0.467
						28	0.379	0.377	0.414	0.396	0.464
						29	0.376	0.410	0.394	0.460	...
						30	0.372	0.404	0.390	0.456	...
						31	0.368	0.398	0.387	0.452	...
						32	0.364	0.391	0.383	0.448	...
						33	0.360	0.384	0.379	0.444	...
						34	0.356	0.376	0.374	0.440	...
						35					...

一六



すとるちえれつき氏ノ形數

樹幹ニ於テ、樹高ノ二分ノ一ノ高サニアル直徑ヲ、其ノ樹幹ノ

中央直徑ト云フ、中央直徑

ヲ胸高直徑ニテ除シ、之ニ

○七〇七ヲ乗ズルトキハ、

形數ヲ得ベシ。

樹幹ノ中央直徑ヲ目測ス

ルニハ、測高器ヲ用ヒテ、樹幹ノ中央點即チ樹高ノ二分ノ一ノ高サノ點ヲ定メ、次キニ此ノ點ト自分ノ目トノ間ノ距離ヲ知リ、而シテ自分ノ目ヨリ此ノ距離ヲ有シ、而モ中央直徑ト同一ニ見ユル、他ノ樹木ノ低キ直徑(胸高直徑ハ宜シカルベシ)ヲ探し、之ヲ測定スルトキハ中央直徑ヲ知ルベシ。

$$\text{形數} = \frac{\text{中央直徑}}{\text{胸高直徑}} \times 0.707$$

形數ヲ知ルトキハ、

$$\text{幹材積} = \text{形數} \times \text{胸高斷面積} \times \text{樹高}$$

例九 脳高直徑一尺五寸高サ九十六尺中央直徑一尺四寸ノ立木アリ、すとる
ちえれつき氏ノ形數ニテ材積ヲ算出スペシ。

$$\text{形數} = \frac{1.40}{1.50} \times 0.707 = 0.660$$

第三章 林木材積計算法

林ノ材積ヲ計算スルニハ、先づ直徑階別ニ、本數ヲ調査セザルベカラズ、之レヲ調査スルニハ、記帳者一人ニ少クモ一人ノ直徑測定者ヲ要ス、直徑測定者ハ、一々林木ノ胸高直徑ヲ輪尺ニテ測リ、其ノ直徑ヲ聲高ク讀ミ上ゲ、一度測リタル木ニハ白墨又ハ皮剝ギ器械ニテ、一定ノ向キニ標シヲ付ケ、再ビ測ラザル様ニナシ、又記帳者ハ、測定者ノ讀ミ上ゲタル直徑ヲ聞キ分ケル

胸高直徑 (寸)	本數調	本數
3	正下	8
4	正正	10
5	正正正	15
6	正正正一	16
7	正正正丁	17
8	正正正正	19
9	正正正正下	23
10	正正正正下	22
11	正正正正	20
12	正正	9
13	正	5
14	丁	2
15	一	1
計		167

林木ノ疎密度、大小及形態等ニ於テ、全林ヲ代表スベキ中庸ノ部分ヲ選ミ、其ノ部分ノ材積ヲ調査シテ、全林ノ材積ヲ推算スル場合ヲ標準地調査ト稱ス。標準地ヲ設ケ、其ノ材積ヲ調査シタル時ハ、次ノ式ニ依リ、全林ノ材積ヲ計算スルコトヲ得ベシ。

$$\text{令林材積} = \frac{\text{全林面積}}{\text{標準地面積}} \times \text{標準地材積}$$

林ノ材積ヲ計算スルニ、一本宛材積ヲ測定シテ、後合計スル方法ヲ毎木法ト稱シ、標準木ヲ選定シテ、調査スル方法ヲ標準木法ト稱ス。標準木ハ太サ、高サ及形態等ニ於テ、代表サルベキ林木ノ中庸ニ位シ、其ノ標準トナルベキモノナラザルベカラズ。林ノ材積ヲ計算スル方法ヲ分チテ、三種トナスコトヲ得ベシ、單級法、階級法、及形數表又ハ材積表ニ依ル者是ナリ。

一 單級法

單級法ハ、先づ全林木ノ平均圓面積(全林木ノ圓面積合計ヲ全

本數ニテ除シタル商)ヲ算出シ、之ニ相當スル直徑ヲ、圓積表ニテ求メ、次ギニ此ノ直徑ヲ有スル多クノ樹幹ニ就キ、一々樹高ヲ測定シテ、此等ノ樹高ヲ平均シ、次ギニ此ノ直徑ト、此ノ平均高トヲ有スル樹幹ノ内、中庸ノ形態ヲ有スル者、一本乃至數本ヲ選定シテ、標準木トナシ、之ガ材積ヲ測定スルモノトス。若シ形數表アルトキハ、平均圓面積ニ相當スル直徑ト、平均高トヲ知リ、直ニ標準木ノ材積ヲ計算スルコトヲ得ベシ。

標準木トシテ選定スペキ樹幹ノ直徑ハ、計算上ノ平均圓面積ノ直徑ニ、精密ニ一致セザルモ可ナリ、之ニ近似スル者ニテ差支ナシ。

標準木ノ材積ヲ知リタルトキハ、其ノ圓面積(標準木一本ナルトキ)又ハ圓面積計(標準木數本ナルトキ)ヲ以テ、全林木ノ圓面積合計ヲ除シ、之ニ標準木ノ材積、又ハ材積計ヲ乘ズベシ。是則

チ求ムル所ノ林ノ材積ナリ。

単級法ニテ林ノ材積ヲ計算スルトキハ、常に過小ノ結果ヲ得ベシ。

測定地 = 何々		樹種 = 杉		面積 = 何々		調査年月日 平 板	
合	林 (標準地)	標	準	木	積 (石)	備	考
胸高 直徑 (寸)	本 數	圓面積 (平方尺)	平均圓面積 及 其ノ直徑 (尺)	番 號	胸高 直徑 (寸)	圓面積 (平方尺)	幹 材 枝 條 計
3	8	0.5655	1.2566	1	8.5	0.5675	1.829
4	10	2.9453	2.9453	2	8.6	0.5809	1.868
5	15	4.5238	4.5238	3	8.7	0.5945	1.912
6	16	6.5425	= 0.58660				
7	17	9.5504	14.6319				
8	19	17.2788	直徑 = 8.6寸	68			
9	23	19.0066					
10	22	10.1787					
11	20	6.6366					
12	9	3.0788					
13	5	1.7672					
14	2						
15	1						
計	167	97.9627					
					1.7429	5.609	

$$\text{全林(標準地)幹材積} = \frac{97.9627}{1.7429} \times 5.609 = 315.5264$$

二階紹述

階級法ニハ直徑級ニ分ツ者ト、分タザル者トアリ、う一りづひ氏及はるちつひ氏ノ法式ハ前者ニ屬シ、どちらうと氏ノ法式ハ後者ニ屬ス。

う一りつひ氏ノ法式ハ、林木ヲ直徑級ニ分ツニ、直徑級ノ本數ヲシテ、全本數ヲ級ノ數ニテ除シタル商ニ等シカラシメントシ。はるちつひ氏ノ法式ハ、林木ヲ直徑級ニ分ツニ、直徑級ノ圓面積計ヲシテ、林木ノ全圓面積合計ヲ級ノ數ニテ除シタル商ニ等シカラシメントスルモノナリ。

以上兩氏ノ法式ニ從ヒ、林木ヲ直徑級ニ分ナルトキハ、各級ニ、同ジ本數ノ標準木ヲ配當シ、而シテ級ヲ一ヶノ林ト看做シ、級毎ニ單級法同様ノ仕方ニテ、標準木ノ直徑及樹高ヲ定メ、其

ノ材積ヲ測定スペキモノトス。

兩氏ノ法式ハ、最モ宏ク應用セラレ、級ノ數ヲ多カラシムルトキハ普通五級精密ナル結果ヲ與フルモノトス。

どちらと氏ノ法式ハ、林木ノ直徑級ニ分ツコトナク、本數調べ其ノ儘トナシ、而シテ豫メ標準木ノ本數ヲ定メ置キ、之ヲ直徑階ニ配布スルニ、其本數ニ比例セシムルモノトス。故ニ標準木ノ本數少キ場合ニハ、本數多キ少數ノ直徑階ノミ、標準木ノ配布ヲ受ケ、配布ヲ受ケザル大多數ノ直徑階ハ、標準木ト何等ノ關係ナキコト、ナルベシ。從テ林ノ材積ハ、一部少數ノ直徑階ノ標準木ニテ計算セラレ、其ノ結果不精確ノ者タルヲ免レズ、故ニ此ノ法式ニテ林ノ材積ヲ計算セントセバ、標準木ノ本數ヲ多クナシ、ナルベク、多數ノ直徑階ニ標準木ヲ配當スル様ナサザルベカラズ。

う一りつひ氏及ビどちらと氏ノ法式ニ在リテハ、夫々各直徑級及各直徑階ヲ通シテ、標準木ノ圓面積及材積ヲ合計シ、標準木ノ圓面積合計ヲ以テ、林ノ圓面積合計ヲ除シ、之ニ標準木ノ材積合計ヲ乘シテ、林ノ材積トナスモノトス。

はるちつひ氏ノ法式ニ在リテハ、先づ級毎ニ材積ヲ計算シ、而シテ後級ノ材積ヲ合計シテ、林ノ材積トナスモノトス。級ノ材積ヲ計算スル方法ハ、單級法ニ同ジ。

四

二六

う一リツヒ氏ノ法式
樹種=杉
面積=何々
測定地=何々

$$E_{\text{杯}} = \frac{1}{2} \rho g h^2 = \frac{1}{2} \times 1000 \times 9.8 \times 0.2^2 = 196 J$$

はるかの氏ノ法式
樹種＝杉 面積＝何

例足證一

$$\text{全林標準地幹材積} = \frac{32.4007}{0.3318} \times 0.955 + \frac{32.5154}{0.7854} \times 2.666 + \frac{33.0653}{1.1310} \times 3.962$$

どらうと氏ノ法式

測定地 = 何々
面積 = 何々
樹種 = 杉
標準木數 = 5
標準木數算出係數 = $\frac{5}{167} = 0.03$

胸高直徑 (寸) (cf.)	全 林 (標準地)				標 準 木 數
	本 數 (平方尺) (sq ft)	圓面積 計 其ノ直徑 (寸) (sq ft)	平均圓面積 及 平均高 度 (尺) (ft)	番 號 (寸) (sq ft)	
3	8	0.5655			
4	10	1.2566			
5	15	2.9453			
6	16	4.5238			
7	17	6.5425	17 × 0.03 = 0.51	61	1
8	19	9.5504	19 × 0.03 = 0.57	66	2
9	23	14.6319	23 × 0.03 = 0.69	70	3
10	22	17.2788	22 × 0.03 = 0.66	73	4
11	26	19.0066	20 × 0.03 = 0.60	75	5
12	9	10.1787			
13	5	6.6366			
14	2	3.0788			
15	1	1.7672			
計	167	97.9627			
			3.3501	11.058	

$$\text{全林(標準地)幹材積} = \frac{97.9627}{3.3501} \times 11.058 = 323.365$$

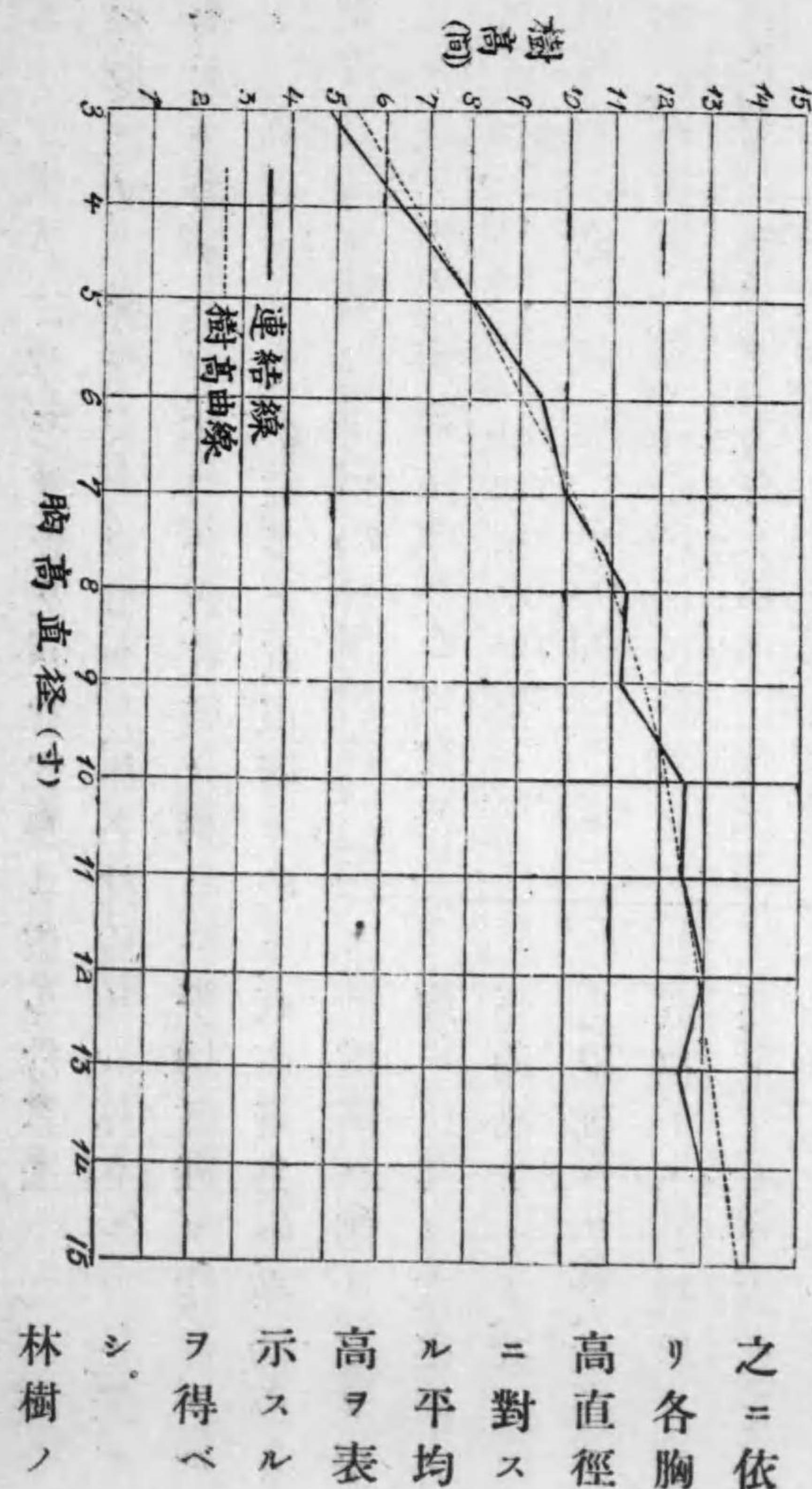
三 形數表又ハ材積表ニ依ル計算法

胸高直徑 (寸)	實測 高			平均 高 尺	實測 間	訂正 間
	實測	訂正	間			
3	5.0	4.6	6.5	8.4	4.8	5.4
4	6.7	6.0	6.5	8.4	6.4	6.6
5	8.0	7.5	8.5	9.4	8.1	7.9
6	8.9	9.8	9.6	9.4	9.4	9.2
7	9.8	10.2	9.5	10.5	10.0	10.2
8	10.9	11.4	11.5	11.0	11.2	11.0
9	11.0	10.5	11.9	11.3	11.2	11.7
10	11.9	12.9	13.2	12.6	11.8	12.5
11	11.8	13.5	13.0	11.6	12.6	12.5
12	12.4	13.6			13.0	12.8
13	12.5				12.5	13.2
14	13.0				13.0	13.4
15					13.6	82

形數表又ハ材積表ヲ使用シテ、林ノ材積ヲ計算スルニハ、先づ樹高曲線ヲ畫キ、林内各直徑階ニ對スル平均樹高ヲ定メザルベカラズ。即チ大小數多ノ直徑階ニ於テ、直徑階毎ニ、高低種々ノ樹高ヲ測リ、之ヲ平均シテ其ノ直徑階ノ平均高トナシ、次ギニ方眼紙ニ於テ、横線ヲ直徑トナシ、縦線ヲ樹高トナシテ、直徑毎ニ樹高ヲ表ハシ、後各樹高ヲ連結スルトキハ、所謂樹高曲線ヲ得ベ

シ、若シ連結線ガ曲線ヲナサタル場合ニハ、連結線ヲ平均シツ
ツ曲線ヲ畫キ、之ヲ樹高曲線トナスベシ。樹高曲線ヲ畫キタル
トキハ、

樹高曲線



太サニ著大ノ逕庭アル場合ニハ、豫メ平均高ヲ求ムベキ太サ
ヲ定メ置キ、假令バ五寸、一尺、一尺五寸、二尺、二尺五寸、三尺等ノ
如シ(本數調べノ時、此等ノ太サニ屬スル樹高ヲ測定スルヲ便
トス。熟練シタル者ハ樹高ヲ目測スルヲヨシトス)測定シタル
樹高ハ、太サ別ニ平均シテ平均高トナシ、此ノ平均高ト此等ノ
太サニテ、樹高曲線ヲ畫キ、各直徑階ノ平均高ヲ定ムルモノト
ス。

直徑階ノ圓面積計ニ、其平均高ヲ乘ジ、之ニ又形數ヲ乗ベルト
キハ、直徑階ニ屬スル總テノ樹幹ノ材積ヲ得ベシ。此ノ如ク直
徑階毎ニ、材積ヲ計算シ、而シテ後此等ノ材積ヲ合計スルトキ
ハ、林ノ材積ヲ得ベシ。次ギニ示ス所ノ計算表ハ、太サノ形數ヲ
使用シタルモノナリ。

太サト平均高トヲ知ルトキハ、材積表ニ依リ、一本當リノ材積

測
樹
法
終

總
チ
ノ
樹
幹
ノ
材
積
ヲ
計
算
シ、
後
此
等
ノ
材
積
ヲ
合
計
ス
ル
ト
キ
ハ、
林
ノ
材
積
ヲ
得
ベ
シ。

胸高 直徑 (寸)	本 數	圓面積 計 (平方尺)	平均 高 (尺)	幹 材 形 數	幹材積 計 (石)
3	8	0.5655	32	0.707	1.279
4	10	1.2566	40	0.605	3.041
5	15	2.9453	47	0.532	7.364
6	16	4.5238	55	0.503	12.515
7	17	6.5425	61	0.488	19.476
8	19	9.5504	66	0.477	30.067
9	23	14.6319	70	0.471	48.241
10	22	17.2788	73	0.465	58.653
11	20	19.0066	75	0.460	65.573
12	9	10.1787	77	0.455	35.661
13	5	6.6366	79	0.449	23.541
14	2	3.0788	80	0.444	10.936
15	1	1.7672	82	0.439	6.362
	167	97.9627			322.709

ヲ求ムルヲ得ベシ。
故ニ樹高曲線又ハ
其ノ他ノ方法ニテ、
各直徑階ノ平均高
ヲ定メタルトキハ、
材積表ニ依リ、直徑
階毎ニ一本當リノ
材積ヲ求メ之ニ直
徑階ノ本數ヲ乗ジ
テ、直徑階ニ屬スル
材積ヲ求メ之ニ直
徑階毎ニ材積ヲ

附
錄
圓積表

圓 積 表								
附 錄	直徑 尺	圓面積 平方尺	周圍 尺	直徑 尺	圓面積 平方尺	周圍 尺	直徑 尺	圓面積 平方尺
	0.01	0.00008	0.031	0.46	0.16619	1.447	0.91	0.65039
	0.02	0.00031	0.062	0.47	0.17341	1.477	0.92	0.66476
	0.03	0.00071	0.094	0.48	0.18095	1.508	0.93	0.67929
	0.04	0.00126	0.125	0.49	0.18857	1.539	0.94	0.69398
	0.05	0.00196	0.157	0.50	0.19635	1.571	0.95	0.70882
	0.06	0.00283	0.188	0.51	0.20426	1.602	0.96	0.72382
	0.07	0.00385	0.220	0.52	0.21237	1.634	0.97	0.73898
	0.08	0.00503	0.251	0.53	0.22062	1.665	0.98	0.75430
	0.09	0.00633	0.283	0.54	0.22912	1.696	0.99	0.76977
	0.10	0.00785	0.314	0.55	0.23758	1.728	1.00	0.78540
	0.11	0.00950	0.347	0.56	0.24633	1.759	1.01	0.80118
	0.12	0.01131	0.377	0.57	0.25518	1.791	1.02	0.81713
	0.13	0.01327	0.408	0.58	0.26421	1.82	1.03	0.83323
	0.14	0.01539	0.440	0.59	0.27340	1.854	1.04	0.84949
	0.15	0.01767	0.471	0.60	0.28274	1.885	1.05	0.86590
	0.16	0.02011	0.503	0.61	0.29225	1.916	1.06	0.88247
	0.17	0.02270	0.534	0.62	0.30191	1.948	1.07	0.89920
	0.18	0.02545	0.565	0.63	0.31172	1.979	1.08	0.91609
	0.19	0.02835	0.597	0.64	0.32170	2.011	1.09	0.93313
	0.20	0.03142	0.628	0.65	0.33183	2.042	1.10	0.95033
	0.21	0.03464	0.660	0.66	0.34212	2.073	1.11	0.96769
	0.22	0.03801	0.691	0.67	0.35257	2.107	1.12	0.98520
	0.23	0.04155	0.723	0.68	0.36317	2.136	1.13	1.00288
	0.24	0.04524	0.754	0.69	0.37393	2.168	1.14	1.02070
	0.25	0.04909	0.785	0.70	0.38485	2.199	1.15	1.03889
	0.26	0.05309	0.817	0.71	0.39592	2.231	1.16	1.05683
	0.27	0.05726	0.848	0.72	0.40715	2.262	1.17	1.07513
	0.28	0.06158	0.880	0.73	0.41854	2.293	1.18	1.09359
	0.29	0.06605	0.911	0.74	0.43008	2.325	1.19	1.11220
	0.30	0.07089	0.942	0.75	0.44179	2.356	1.20	1.13097
	0.31	0.07548	0.974	0.76	0.45362	2.388	1.21	1.14990
	0.32	0.08042	1.005	0.77	0.46566	2.419	1.22	1.16899
	0.33	0.08553	1.037	0.78	0.47784	2.450	1.23	1.18823
	0.34	0.09179	1.068	0.79	0.49017	2.482	1.24	1.20763
	0.35	0.09821	1.100	0.80	0.50265	2.513	1.25	1.22719
	0.36	0.10179	1.131	0.81	0.51530	2.545	1.26	1.24690
	0.37	0.10752	1.162	0.82	0.52810	2.576	1.27	1.26677
	0.38	0.11341	1.194	0.83	0.54106	2.608	1.28	1.28589
	0.39	0.11946	1.225	0.84	0.55418	2.639	1.29	1.30698
	0.40	0.12566	1.257	0.85	0.56745	2.670	1.30	1.32732
	0.41	0.13203	1.288	0.86	0.58088	2.702	1.31	1.34782
	0.42	0.13854	1.319	0.87	0.59447	2.73	1.32	1.36448
	0.43	0.14522	1.351	0.88	0.60821	2.765	1.33	1.38929
	0.44	0.15203	1.382	0.89	0.62211	2.796	1.34	1.4102
	0.45	0.15904	1.414	0.90	0.63617	2.827	1.35	1.43139

圓 積 表								
附 錄	直徑 尺	圓面積 平方尺	周圍 尺	直徑 尺	圓面積 平方尺	周圍 尺	直徑 尺	圓面積 平方尺
	1.36	1.45267	4.273	1.81	2.57304	5.686	2.26	4.01150
	1.37	1.47411	4.304	1.82	2.60155	5.718	2.27	4.04408
	1.38	1.49571	4.335	1.83	2.63022	5.749	2.28	4.08281
	1.39	1.51747	4.367	1.84	2.65904	5.781	2.29	4.11871
	1.40	1.53938	4.398	1.85	2.68803	5.812	2.30	4.15476
	1.41	1.56145	4.430	1.86	2.71716	5.843	2.31	4.19096
	1.42	1.58368	4.461	1.87	2.74646	5.875	2.32	4.22733
	1.43	1.60606	4.492	1.88	2.77591	5.906	2.33	4.26385
	1.44	1.62866	4.524	1.89	2.80552	5.938	2.34	4.30053
	1.45	1.65130	4.555	1.90	2.83529	5.969	2.35	4.33736
	1.46	1.67416	4.587	1.91	2.86521	6.000	2.36	4.37485
	1.47	1.69716	4.618	1.92	2.89529	6.032	2.37	4.41150
	1.48	1.72034	4.650	1.93	2.92553	6.063	2.38	4.44881
	1.49	1.74366	4.681	1.94	2.95593	6.095	2.39	4.48627
	1.50	1.76715	4.712	1.95	2.98648	6.126	2.40	4.52389
	1.51	1.79079	4.744	1.96	3.01719	6.158	2.41	4.56167
	1.52	1.81458	4.775	1.97	3.04805	6.189	2.42	4.59961
	1.53	1.83854	4.807	1.98	3.07908	6.220	2.43	4.63770
	1.54	1.86265	4.838	1.99	3.11026	6.252	2.44	4.67595
	1.55	1.88692	4.869	2.00	3.14159	6.283	2.45	4.71435
	1.56	1.91135	4.901	2.01	3.17309	6.315	2.46	4.75292
	1.57	1.93593	4.932	2.02	3.20474	6.346	2.47	4.79164
	1.58	1.96057	4.964	2.03	3.23655	6.377	2.48	4.83051
	1.59	1.98557	4.995	2.04	3.26851	6.409	2.49	4.86955
	1.60	2.01062	5.027	2.05	3.30064	6.440	2.50	4.90874
	1.61	2.03583	5.058	2.06	3.33292	6.472	2.51	4.94809
	1.62	2.06120	5.089	2.07	3.36535	6.503	2.52	4.98759
	1.63	2.08672	5.121	2.08	3.39795	6.535	2.53	5.02726
	1.64	2.11241	5.152	2.09	3.43070	6.566	2.54	5.06708

圓 積 表

	直徑 尺	圓面積 平方尺	周圍 尺	直徑 尺	圓面積 平方尺	周圍 尺	直徑 尺	圓面積 平方尺	周圍 尺
錄	2.71	5.76804	8.514	3.16	7.84267	9.927	3.61	10.23539	11.341
	2.72	5.81064	8.545	3.17	7.89239	9.959	3.62	10.29217	11.373
	2.73	5.85349	8.577	3.18	7.94226	9.990	3.63	10.34911	11.404
圓	2.74	5.89646	8.608	3.19	7.99229	10.022	3.64	10.40621	11.435
	2.75	5.93957	8.639	3.10	8.04248	10.053	3.65	10.46347	11.467
積	2.76	5.98285	8.671	3.21	8.09282	10.085	3.66	10.52088	11.498
	2.77	6.02628	8.702	3.22	8.14332	10.116	3.67	10.57845	11.53
表	2.78	6.06987	8.734	3.23	8.19398	10.147	3.68	10.63618	11.561
	2.79	6.11362	8.765	3.24	8.24480	10.179	3.69	10.69406	11.592
	2.80	6.15752	8.797	3.25	8.29577	10.210	3.70	10.75210	11.624
	2.81	6.20158	8.828	3.26	8.34690	10.242	3.71	10.81030	11.655
	2.82	6.24580	8.859	3.27	8.39818	10.273	3.72	10.86867	11.687
	2.83	6.29018	8.891	3.28	8.44963	10.304	3.73	10.92717	11.718
	2.84	6.33471	8.922	3.29	8.50123	10.336	3.74	10.98584	11.750
	2.85	6.37940	8.954	3.30	8.55299	10.367	3.75	11.04466	11.781
	2.86	6.42424	8.985	3.31	8.60497	10.399	3.76	11.10367	11.812
	2.87	6.46925	9.016	3.32	8.65697	10.430	3.77	11.16279	11.844
	2.88	6.51441	9.048	3.33	8.70920	10.461	3.78	11.22208	11.875
	2.89	6.55972	9.079	3.34	8.76159	10.493	3.79	11.28154	11.907
	2.90	6.60520	9.111	3.35	8.81413	10.524	3.80	11.3411	11.938
	2.91	6.65083	9.142	3.36	8.86683	10.556	3.81	11.40092	11.969
	2.92	6.69632	9.173	3.37	8.91969	10.587	3.82	11.46084	12.001
	2.93	6.74257	9.205	3.38	8.97270	10.619	3.83	11.52093	12.032
	2.94	6.78867	9.237	3.39	9.02587	10.650	3.84	11.58117	12.064
	2.95	6.83493	9.268	3.40	9.07930	10.681	3.85	11.64156	12.096
	2.96	6.88135	9.298	3.41	9.13269	10.713	3.86	11.70212	12.127
	2.97	6.92792	9.331	3.42	9.18632	10.744	3.87	11.76283	12.158
	2.98	6.97465	9.362	3.43	9.24013	10.776	3.88	11.82370	12.189
	2.99	7.02154	9.393	3.44	9.29409	10.807	3.89	11.88472	12.221
	3.00	7.06858	9.425	3.45	9.34820	10.838	3.90	11.94591	12.252
	3.01	7.11579	9.456	3.46	9.40247	10.870	3.91	12.00721	12.284
	3.02	7.16315	9.488	3.47	9.45690	10.901	3.92	12.06874	12.315
	3.03	7.21066	9.519	3.48	9.51149	10.933	3.93	12.13040	12.346
	3.04	7.25834	9.550	3.49	9.56623	10.964	3.94	12.19221	12.377
	3.05	7.30617	9.582	3.50	9.62113	10.996	3.95	12.25418	12.408
四	3.06	7.35415	9.613	3.51	9.67618	11.027	3.96	12.31630	12.441
	3.07	7.40230	9.645	3.52	9.73140	11.058	3.97	12.37818	12.472
	3.08	7.45060	9.676	3.53	9.78677	11.090	3.98	12.44102	12.504
	3.09	7.49936	9.708	3.54	9.84230	11.121	3.99	12.50362	12.535
	3.10	7.54768	9.739	3.55	9.89798	11.153	4.00	12.56367	12.566
	3.11	7.59645	9.770	3.56	9.95382	11.184			
	3.12	7.64538	9.802	3.57	10.00982	11.215			
	3.13	7.69447	9.833	3.58	10.06598	11.247			
	3.14	7.74371	9.865	3.59	10.12229	11.278			
	3.15	7.79311	9.896	3.60	10.17876	11.310			

第二編
測量法

第二編 測量法

第一章 測量

測量スルニハ、測量者ト繩引キノ二人ヲ要ス、測量者ハ、測量器械ト野帳ト鉛筆トヲ携帶シ、測點間ノ間數、傾斜角、及方位等ヲ測定記帳スルノ任務ヲ有シ、繩引キハ間繩ト測竿ト山刀トヲ携帶シ、測點ニ測竿ヲ立て、測量者ト共ニ測點間ノ間數ヲ測リ及見透シニ妨げトナル樹木ヲ伐採スル等ノ業ニ從事ス、山林田畠ヲ測量スルニハ、次ギノ順序ニ依ルベシ。

- 一、測量者ハ、自分ノ目ノ高サヲ大體測竿ニテ定ムルコト。
- 二、測量者ハ、境界線ノ上ニ立チ、(境界線デサヘアレバ何處ニテモ宜シ)小杭ニ第一號ト記シ、之ヲ自分ノ足許ニ立ツベシ、
次ギニ

三、測量者ハ、間繩ノ一端ヲ持チ、他端ヲ繩引キニ持タシメ、繩引キヲシテ繩ヲ曳キナガラ、境界ノ上ヲ曲リ角マデ進マシメ其ノ處ニ測竿ヲ立テシム、測竿ヲ立テタルトキハ、間繩ヲ充分引キ張リ、自分ト測竿トノ間ノ間數(七八〇)間^間ヲ測リ、之ヲ野帳ノ斜距欄ニ記入シ、次キニ

四、測量者ハ、器械ヲ取り出シ、目透器ニテ測竿上自分ノ目ノ高サト等シキ所ヲ覗キテ、傾斜角(二六度)ヲ測リ、之ヲ野帳ニ記入シ若シ傾斜角ガ、俯角ナルトキ即チ下ノ方ヲ見透シタルトキハ傾斜角ニ(+)ノ記號ヲ與ヘ、若シ仰角ナルトキ即チ上ノ方ヲ見透シタルトキハ(+)ノ記號ヲ附ス、次キニ見透器ニテ測竿ヲ覗キ、即チ測竿ヲ直立セシメテ、之ヲ見透器ノ十字線ノ縦線ニ合ハシ、而シテ方位(一二五度)ヲ讀ミテ之ヲ野帳ニ記入スペシ懷中測量器ヲ使用シタルトキハ、傾斜角ト

方位トヲ同時ニ讀ミ、同時ニ記帳スルモノトス。

右ニテ第一號測定ニ於テナスペキ仕事ハ、全部終了セリ、次ギ

五、繩引キヲシテ、測竿ヲ立テタル所ニ第二號ノ小杭ヲ立テシメ、後チ繩引キヲシテ、繩ヲ曳キ摺リナガラ、境界線ノ上ヲ進マシメ、自ラモ進ミテ、第二號測點ノ小杭ノ所ニ行キ、前ノ如ク繩引キヲシテ、曲リ角ニ測竿ヲ立テシメ、測竿ヲ立タル所ニ第三號ト記シタル小杭ヲ立テシム。

六、測量者ハ、第一號測點ニ於テナシタルト同様、第二號測點ニ於テモ、第二號ト第三號間ノ間數(二六間)傾斜角(三〇度)及方位(七五度)ヲ測定シテ、此等ヲ野帳ニ記入スペシ、此ノ如クシテ順次境界線ヲ進ミ、元ノ第一號測點ニ戻ルモノトス。以上ノ手續ヲ經テ測量ヲ了リタルトキハ、單位水平距及高低

差表ニ依リ、斜距ニ其ノ斜傾角ノ単位水平距ヲ乗ジテ水平距トナシ、又斜距ニ其ノ傾斜角ノ単位高低差ヲ乘ジテ高低差トナシ、各測點毎ニ計算シテ野帳ニ記入スルモノトス。

単位水平距及高低差表

傾斜角	水 平 距	高 差	斜 距 1 = 對 シ			高 差	水 平 距	高 差	水 平 距
			傾斜角	水 平 距	高 差				
0	1.000	0.000	90	23	0.921	0.391	67		
1	1.000	0.017	89	24	0.914	0.407	66		
2	0.999	0.035	88	25	0.906	0.423	65		
3	0.999	0.052	87	26	0.899	0.438	64		
4	0.998	0.070	86	27	0.891	0.454	63		
5	0.996	0.087	85	28	0.883	0.469	62		
6	0.995	0.105	84	29	0.875	0.485	61		
7	0.993	0.122	83	30	0.866	0.500	60		
8	0.990	0.139	82	31	0.857	0.515	59		
9	0.988	0.156	81	32	0.848	0.530	58		
10	0.985	0.174	80	33	0.839	0.545	57		
11	0.982	0.191	79	34	0.829	0.559	56		
12	0.978	0.208	78	35	0.819	0.574	55		
13	0.974	0.225	77	36	0.809	0.588	54		
14	0.970	0.242	76	37	0.799	0.602	53		
15	0.966	0.259	75	38	0.788	0.616	52		
16	0.961	0.276	74	39	0.777	0.629	51		
17	0.956	0.292	73	40	0.766	0.643	50		
18	0.951	0.309	72	41	0.755	0.656	49		
19	0.946	0.326	71	42	0.743	0.669	48		
20	0.940	0.342	70	43	0.731	0.682	47		
21	0.934	0.358	69	44	0.719	0.692	46		
22	0.927	0.375	68	45	0.707	0.707	45		
			低 差	平 水 距	斜 傾 角	低 差	平 水 距	斜 倾 角	

野 帳

調査年月日

地面ノ名稱番號

測線	方 位	内 角	傾斜角	斜 距	水 平 距	高 低 差	備 考
1-2	125.00°		26.00°	78.0 ^{mm}	70.1 ^{mm}	5.4	第一號ハ直徑四寸ノ樺 ノ立木トス
2-3	75.00°		○	30.00	116.0	100.5	5.8
3-4	30.00°		○	20.00	54.0	50.1	第三號ハ境界石標第八 號ニ一致ス
4-5	306.30°		○	13.00	113.0	110.1	2.5
5-6	240.00°		○	36.00	161.0	130.3	9.5
							第六號終點ハ第一號始 點ト一致ス

備考 高低差ハ道路ノ設計ノ際用キラレ、普通ノ測量ニハ
使用サル、コトナン。

第二章 製圖

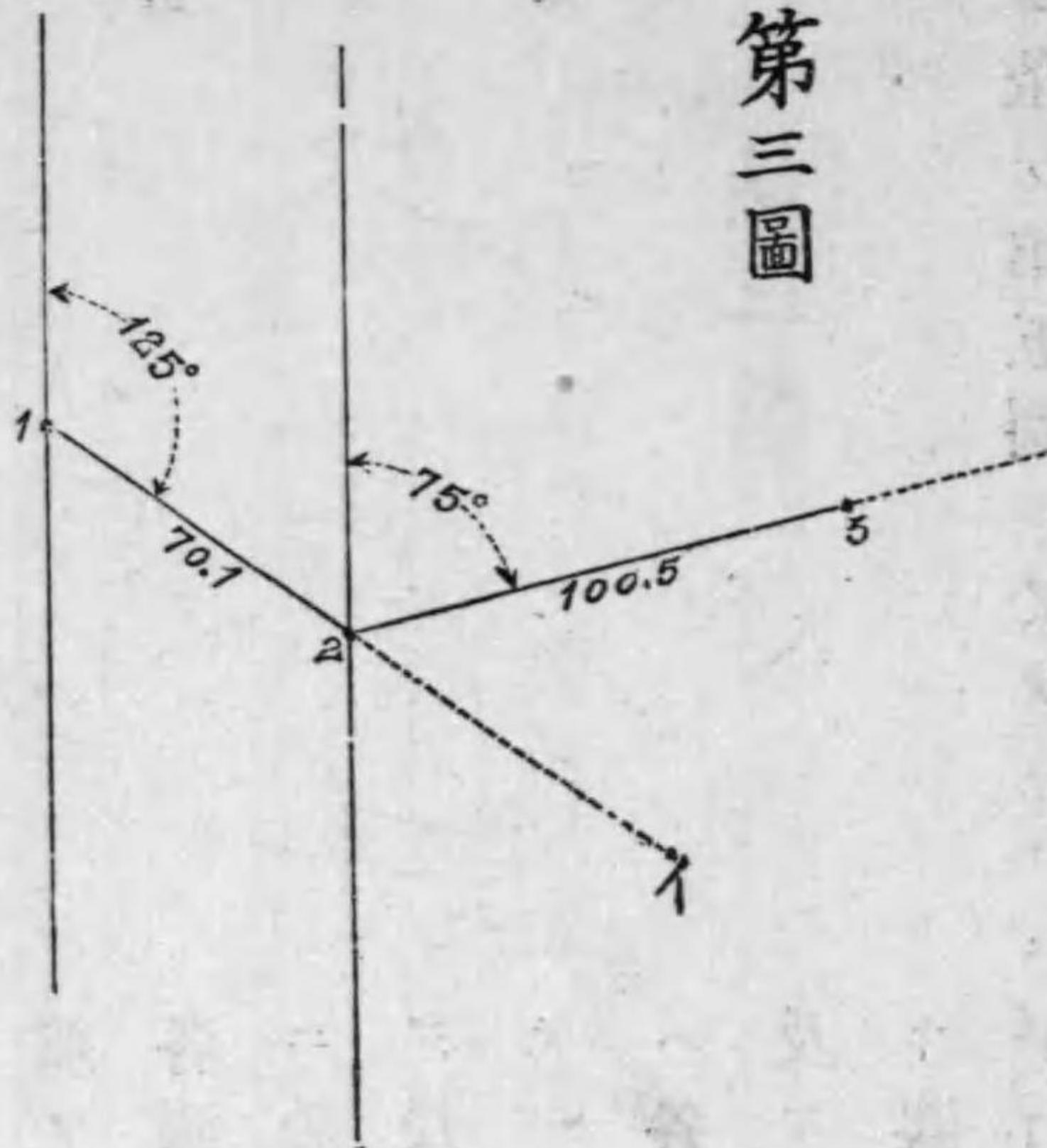
各測點ノ水平距ヲ算出シタルトキハ、紙ニ定規ニテ縦ニ直線ヲ引き、直線ノ上端ヲ北、其ノ下端ヲ南ト定メ、而シテ縦線中ニ第一圖ノ如ク、一點ヲ設ケ、之ヲ第一號測點トナシ、此ノ點ニ分度器ノ中心ヲ當テ、分度器ノ零度線ヲ上即チ北ニ向ケ、百八十五度線ヲ下即チ南ニ向ケ、第一圖ノ如ク、零度線ト百八十度線ヲ縱線ニ合ハシ、零度ヨリ始メテ時計ノ針ノ廻ハル方向、即チ磁石ノ度盛ト反對ノ方向ニ、測線⁽¹⁻²⁾ニ記入セル方位ノ度數一二五度丈ヶ數ヘ、其ノ處ニ孔(イ)ヲ針ニテ明ケ、次ギニ分度器ヲ取り去リ、第二圖ノ如ク、縮尺ヲ第一號測點ト孔(イ)ニ當テ、第一號測點ヨリ始メテ、測線⁽¹⁻²⁾ニ記入セル水平距(七〇一)丈縮尺ニテ數ヘ、其所ニ針ニテ孔⁽²⁾ヲ明ケ、此ノ孔ト第一號測點トヲ鉛筆ニテ結ブベシ、此ノ孔⁽²⁾ハ、則チ第二號測點ナリ、次キニ、第三圖

ノ如ク、第二號測點ヲ通ジテ前ノ縦線ニ平行ナル直線ヲ引き此ノ線ノ上ヲ北、下ヲ南トナシテ第三號ノ測點ヲ求ムベシ、此ノ如ク順次各測點ヲ定ムルトキハ、第四圖ノ圖面ヲ得ベシ、圖面ガ若シ閉合セザルトキハ、誤差ヲ修正スペシ。

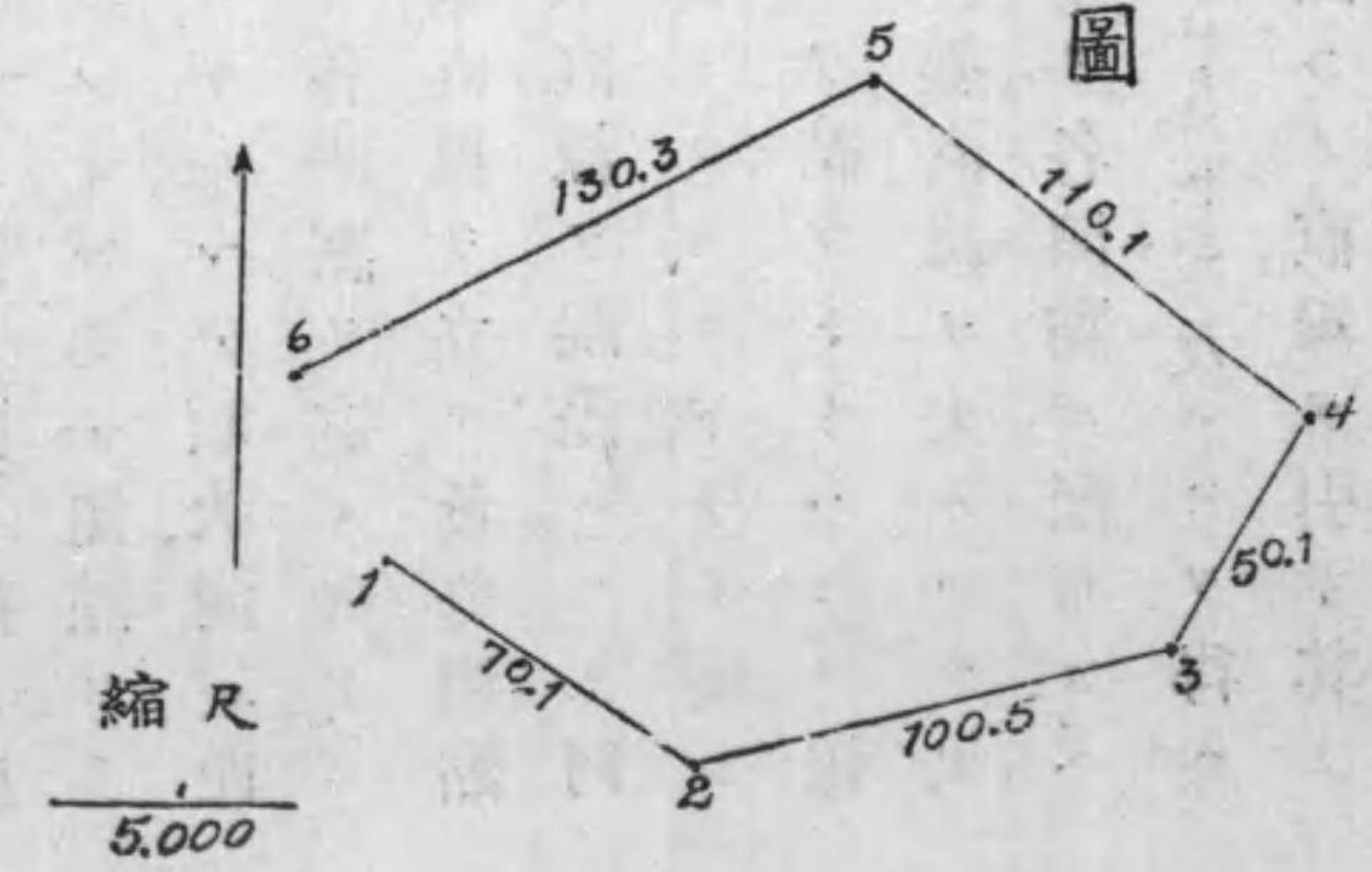
注意 實地測量ノトキハ目標ヲ常ニ磁石N—Sノ線ノ内ニ入レ北針ノ指示スル度盛ヲ讀ム磁石ノ度數ハN—S線ノNヲ零度トナシテ周圍ニ度盛セラル、故ニ逆ニ北針ヲ零度トシテ、北針ノ指示スル度數丈ヶ磁石ノ度盛ノ方向ニ反シテ數フルトキハN—S線即チ目標ノ方向線ヲ得ベシ、是レ製圖ニ際シ紙面ニ引キタル縦線ノ上端ヲ北針、下端ヲ南針ト假定シ、此ノ縦線中ニ測點ヲ設ケ之ヲ中心トシテ、上端即北針ヲ零度トナシ磁石ノ度盛ノ方向ニ反シテ度數ヲ數ヘ、斯シテ次ギノ測點ノ方向線ヲ定ムル所以ナリ。

第二編 測量法

第三圖

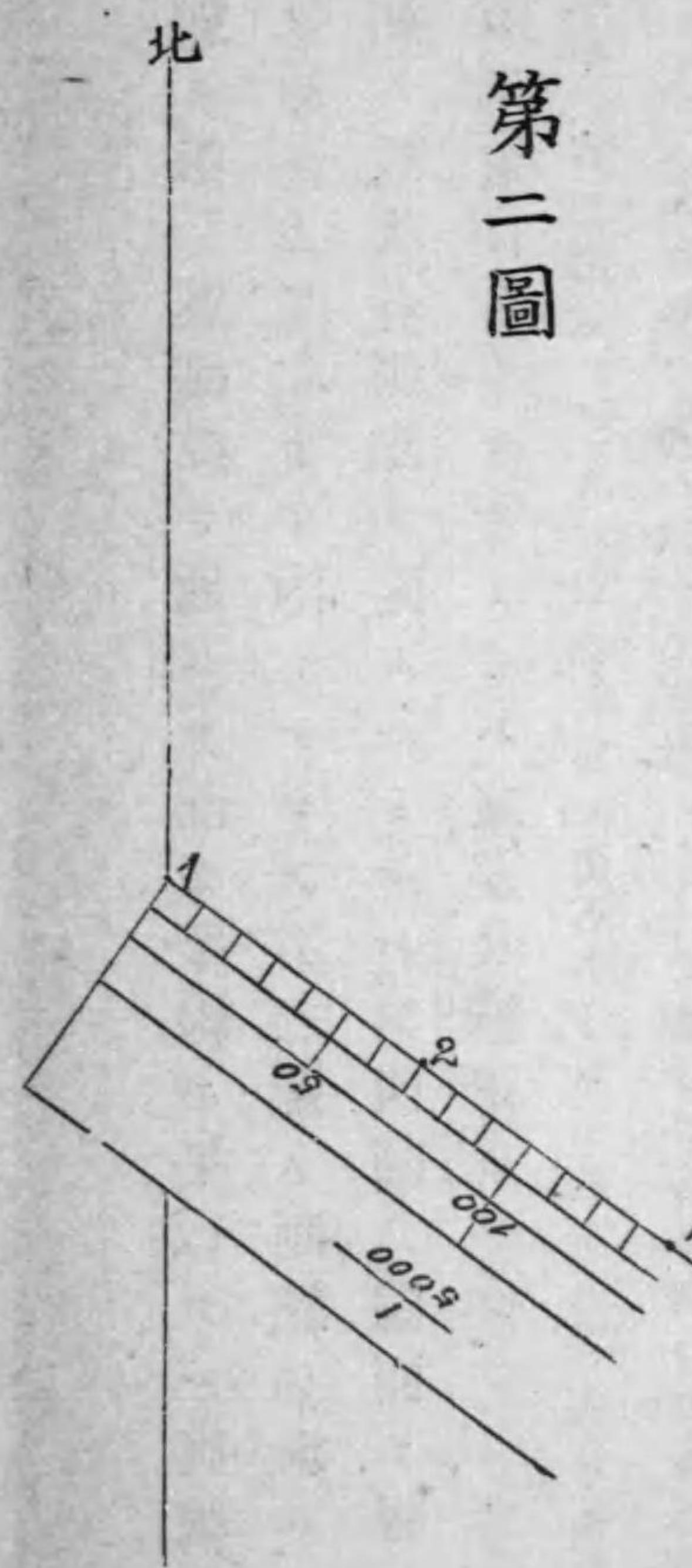


第四圖



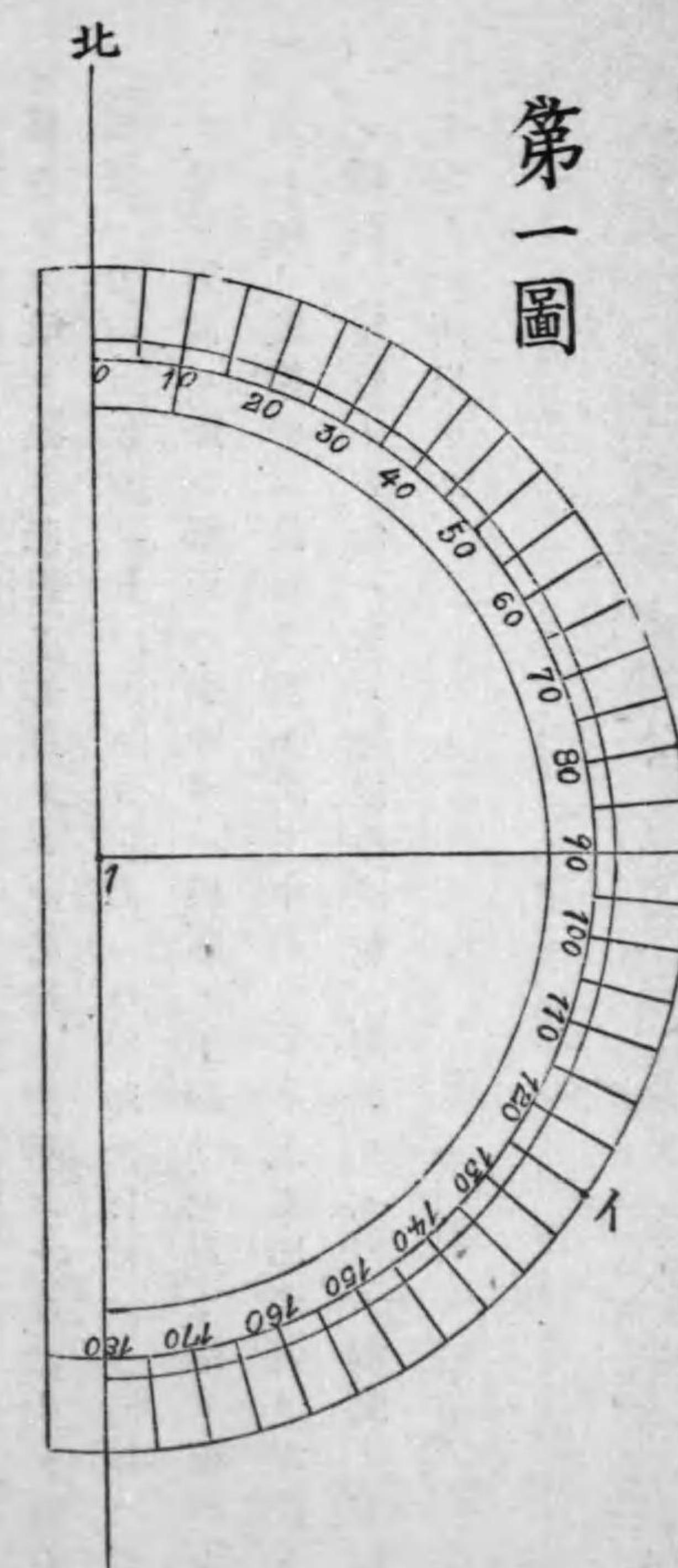
九

第二圖



北

第一圖



八

誤差ヲ修正スルニ最モ簡便ナル方法ハ先づ第六圖ノ如ク直線ヲ引キ其ノ上ニ第一測點ヨリ最終測點ニ至ルマデ順次測定距離ヲ隔テ、各測點ヲ定メ次ギニ各測點ニ垂直線ヲ立て最終測點ニ於ケル垂直線ヲ誤差 σ_1 ト同ジ長サニ切りテ σ_1 トナシ而シテ σ_1 ト σ_2 ト σ_3 ト σ_4 及 σ_5 ニテ切り各測點ニ配布スペキ誤差 σ_2 、 σ_3 、 σ_4 及 σ_5 ヲ得ベシ依テ第五圖ニ於テ σ_1 ニ平行ニ各點ヨリ直線ヲ引キ其ノ線上ニ右ノ誤差丈ヶ各點ヲ σ_1 ニ移動スルト同ジ方向ニ

移動セシムベシ、圖中點線ハ修正測線ヲ示スモノトス

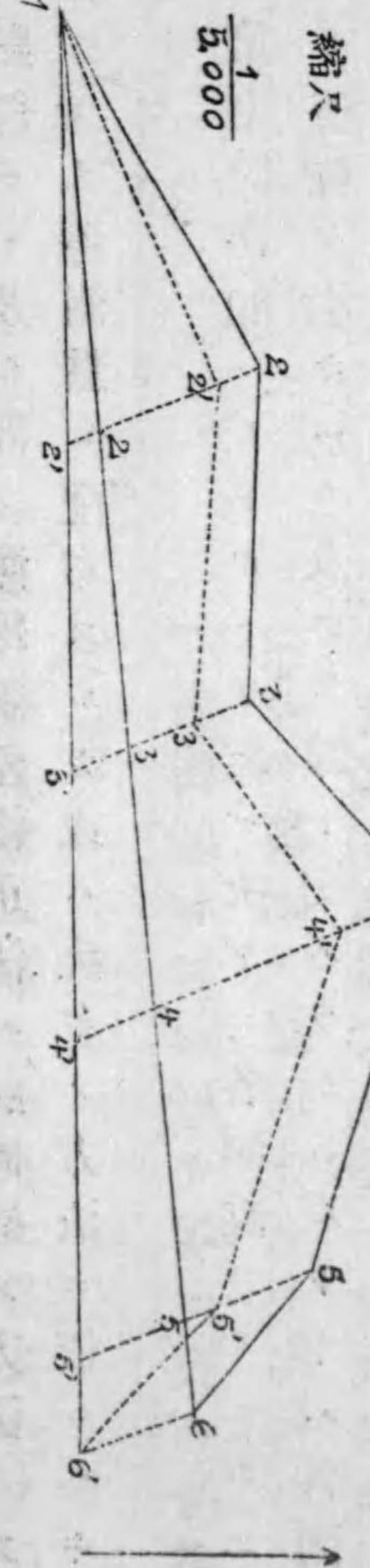


以上ハ閉合スペキ周圍測量ノ誤差修正法ナルガニツノ定マレル點即チ 1 及 6 間ノ測線誤差修正法ハ前同様ノ方法ニテ誤差丈 σ_1 ヲ各測點ニ配布スルカ或ハ次ギノ方法ニ依ルベキモノトス
先づ第七圖ノ如ク 1 ト 6 トヲ結ビ次ギニ各測點ヨリ σ_1 ニ平行ニ直線ヲ引キ $1-6$ 及 $1-6$ 線ト交ハラシムルトキハ各測點ニ配布スペキ誤差 σ_2 、 σ_3 、 σ_4 及 σ_5 ヲ得ベシ依テ此等ノ誤差丈各測點ヲ 6 ガ 6 ニ移動スルト同ジ方向ニ夫々平行線ノ上ヲ移動セシメ而シテ後此等ノ移動點ヲ連結スルトキハ

修正測線ヲ得ベシ圖中ノ點線ハ則チ是ナリ

一一一

第七



第三章 面積計算法

I、三角形ノ面積ヲ算出スル法(第八圖)

第 八 圖 三角形ノ面積ヲ知ルニハ高サ(h)ヲ製圖ノ際用キタル縮尺ニテ測リ之ニ底邊(BC)ノ長サヲ乘ジ其ノ結果ヲ二分スベシ

$$\text{面積} = \frac{BC \times h}{2}$$

II、梯形ノ面積ヲ算出スル法(第九圖)

第 九 圖 梯形ノ面積ヲ知ルニハ高サ(h)ヲ製圖ノ際用キタル縮尺ニテ測リ之ニ兩平行線ノ長サノ和ヲ乘ジ其ノ結果ヲ二分スベシ
面積 = $\frac{h}{2}(AC + BD)$

III、平行四邊形ノ面積ヲ算出スル法

(第十圖)

平行四邊形ノ面積ヲ知ルニハ高サ(h)ヲ製圖ノ際用キタル縮尺ニテ測リ之ニ底邊(BD)ノ長サヲ乘ズベシ
面積 = $h \times BD$

IV、矩形及正方形ノ面積ヲ算出スル法

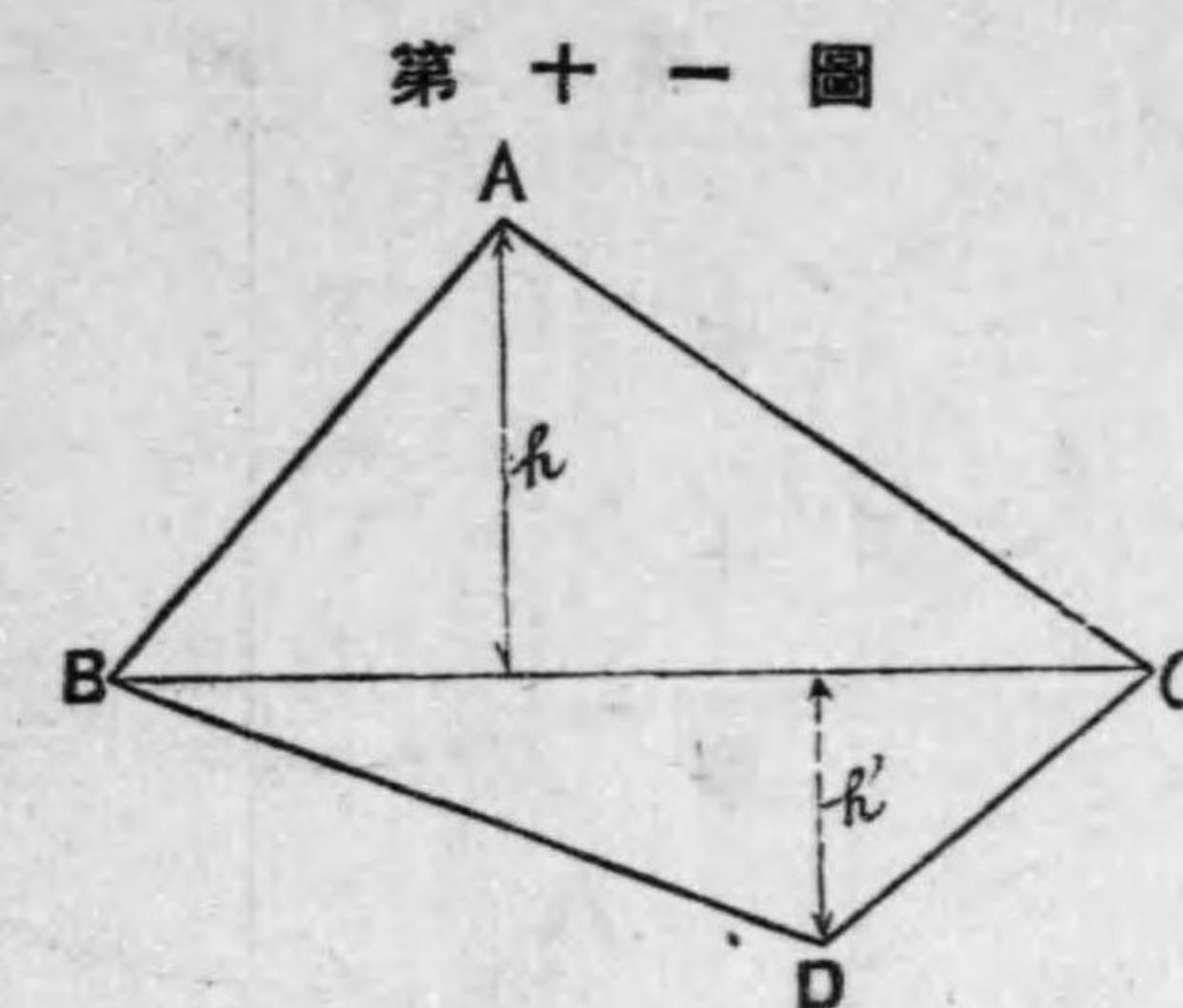
第二編 測量法

一一一

矩形ノ面積ハ長短二邊ノ長サノ積ニ等シク正方形ノ面積
ハ邊ノ長サノ自乘ニ等シ

五、不正四邊形ノ面積ヲ算出スル法

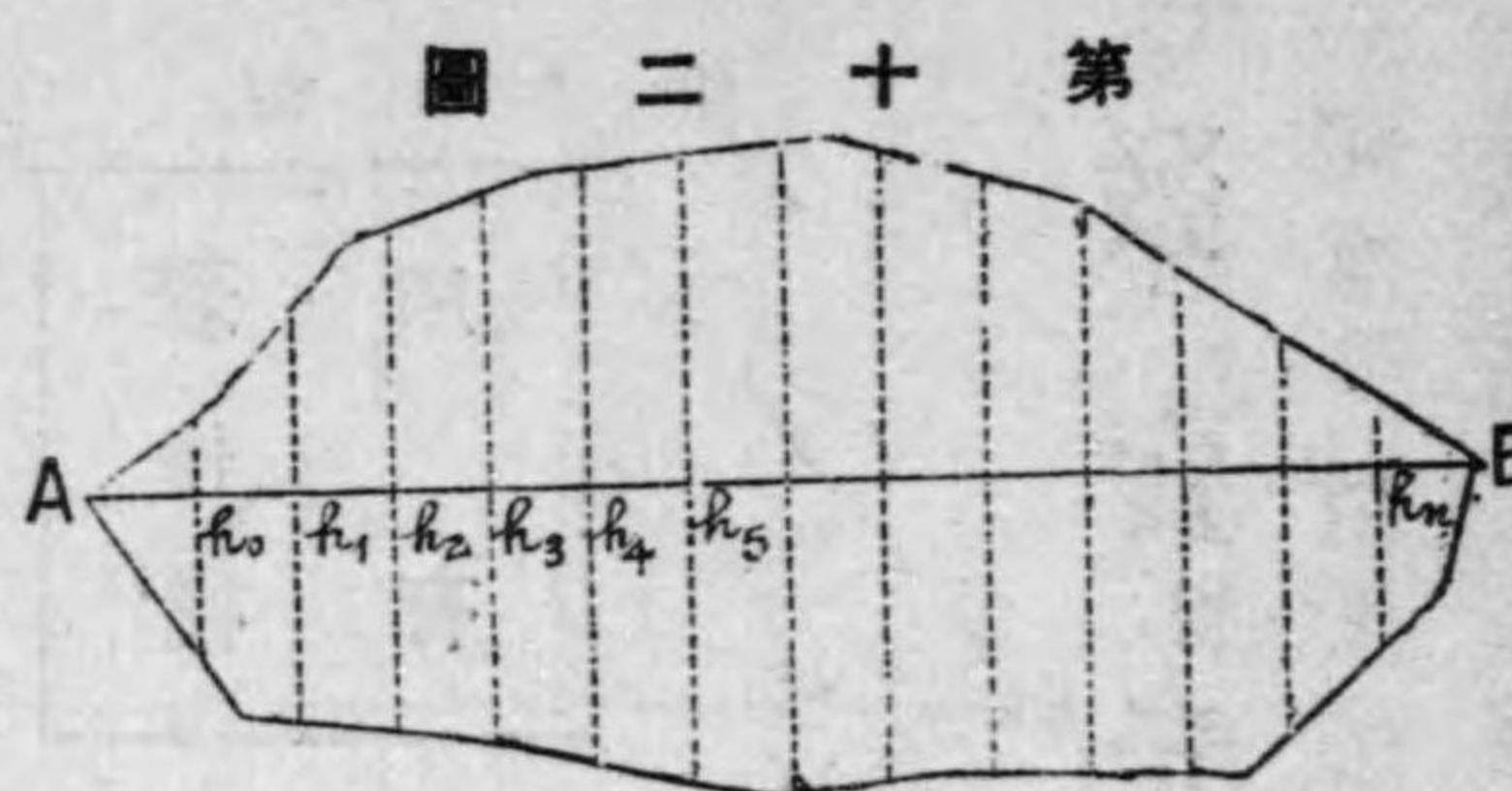
(第十一圖)



七、測點ノ夥多ナル圖面ノ面積計算法(第十二圖)

圖面ノ兩端ヲ直線ニテ結ビ、此ノ直線ヲ數多ニ等分シ、各分
點ヲ通ジテ垂直線ヲ立て、次ギニ周圍線ニテ切ラレタル各

- 六、多角形ノ面積ヲ算出スル法
- 多角形ヲ數多ノ三角形ニ分チ各ノ面積ヲ算
出シテ後合計スペシ
- 多角形ノ面積ヲ算出スル法
- 多角形ヲ數多ノ三角形ニ分チ各ノ面積ヲ別々ニ計算シテ後合計スペシ



垂直線ノ長サヲ製圖ノ際用キタル縮尺
ニテ測リ、此等ノ長サヲ全部合計シ之ニ
區分ノ長サヲ乘ズルモノトス、等分數多
ケレバ多キ程精密ナル結果ヲ得ベシ
$$\text{面積} = \frac{AB}{n+2}(h_0 + h_1 + h_2 + \dots + h_n)$$

八、方眼紙ニ製圖スルトキハ方眼ヲ數ヘ
テ面積ヲ知ルヲ得ベシ又「ブランメータ
」アルトキハ之ニ依リ面積ヲ容易ニ算
出スルコトヲ得ベシ

大正四年七月二十三日印刷
大正四年七月二十六日發行

定價 金貳拾錢

著者

中島町四十二番屋敷
戸澤又次郎

著作權

印
刷
所

福山印刷製本所

發賣元

日進商會

振替貯金口座番號

東京市本郷區根津宮前三十七番地
日進商振替貯金口座
東京壹九四一

337
728

終

